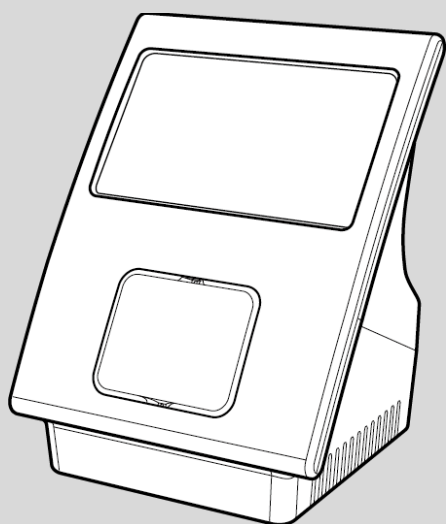




**勤怠パッケージ
ユーザーマニュアル
Version 5.00**



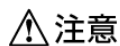
もくじ

1. 必ずお読みください	3
2. はじめに	4
2.1. 概要	4
2.2. 本製品でできること	5
2.3. 設定の変更	5
3. 打刻方法	6
3.1. メイン画面	6
3.2. 打刻とステータス	7
3.2.1. 選択中のステータスで打刻	7
3.2.2. ステータスを毎回選択して打刻	8
3.2.3. 食事予約ボタン	9
3.3. サーバありで運用する（オンラインモード）	10
3.3.1. 動作フロー	10
3.3.2. 再送と代理応答	11
3.3.3. 未送信データフル画面	12
3.4. サーバなしで運用する（オフラインモード）	12
3.4.1. 動作フロー	13
3.4.2. オンラインモードからオフラインモードへの切替時の注意事項	13
3.5. エラー画面	14
3.6. 便利な機能	15
3.6.1. ステータス値を変更する	15
3.6.2. 時間帯に応じてステータスを自動で変更する	15
3.6.3. 直ちに打刻完了をお知らせする	15
3.6.4. 時刻を24時間表示にする	16
3.6.5. カード内の情報を利用する	16
4. ネットワーク情報画面	17
4.1. ネットワーク情報画面	17
4.2. 疎通確認	17
5. 管理画面	18
5.1. 管理画面を表示する	18

6. 検出ログ取得	20
6.1. 検出ログをUSBメモリに保存する	20
6.2. ネットワークから検出ログを取得する（外部連携CGI検出ログ取得機能）	21
7. カード登録機能	23
7.1. カードの名前を本製品に登録する（ローカルカード登録）	23
7.2. サーバにカードに登録する（リモートカード登録）	27
7.3. サーバに登録されているカードを削除する（リモートカード削除）	29
8. カスタムステータスボタン	32
8.1. カスタムステータスボタンとは	32
8.2. 設定方法	32
8.3. タイトル表示	33
8.4. 設定例	34
8.5. ステータス自動変更設定	35
9. カード情報の読み取り	36
9.1. FeliCa	36
9.2. MIFARE	38
10. 勤怠パッケージの設定	40
10.1. 設定方法	40
10.2. 設定値一覧	41
10.3. 設定値エラー	48
10.4. 音声番号	53
11. 検出ログ	54
12. 勤怠パッケージで記録するコンソールログ	56
13. 用語集	59
14. FAQ	60

1. 必ずお読みください

本書中のマークの説明



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



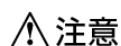
重要

本製品をお使いいただくうえで重要な事項を記載しています。

MEMO

操作の参考となる情報や、補足説明を記載しています。

ご利用にあたってのお願い



注意

電源をOFFにするときは、本製品の機能選択画面またはWeb設定ページからシャットダウンを行ってください。動作中にACアダプタを抜いたり、いきなり電源をOFFにすると、ソフトウェアが破壊されて故障の原因になるおそれがありますので、絶対におやめください。また、以下の動作中に電源ボタンを10秒以上続けて押さないでください。

- ・コンテンツセットの更新中
- ・ファームウェアの更新中
- ・プロバイダ設定ファイルの更新中
- ・本製品の再起動中
- ・本製品のシャットダウン中
- ・一括設定の更新中

■本書の内容

本書は「ピットタッチ・プロ3 勤怠パッケージ」（以下、「本製品」）の基本的な使い方についてまとめたドキュメントです。

ネットワーク設定等本体の設定方法については「設定ガイド」をご参照ください。製品仕様については、本製品に付属の取扱説明書をご参照ください。



重要

本書は本製品のファームウェア Version 5.00 以降を対象として記述されています。ご利用の際は、本製品のファームウェアバージョンをご確認ください。ファームウェアバージョンは、本体の端末情報表示画面、または Web 設定ページで確認できます。

■商標などについてのお知らせ

「ピットタッチ」「ピットタッチ・プロ」および PitTouch ロゴは、株式会社スマート・ソリューション・テクノロジーの登録商標です。

「FeliCa」は、ソニー株式会社が開発した非接触 IC カードの技術方式です。

「FeliCa」は、ソニー株式会社の登録商標です。

「MIFARE」は、NXP セミコンダクターズの登録商標です。

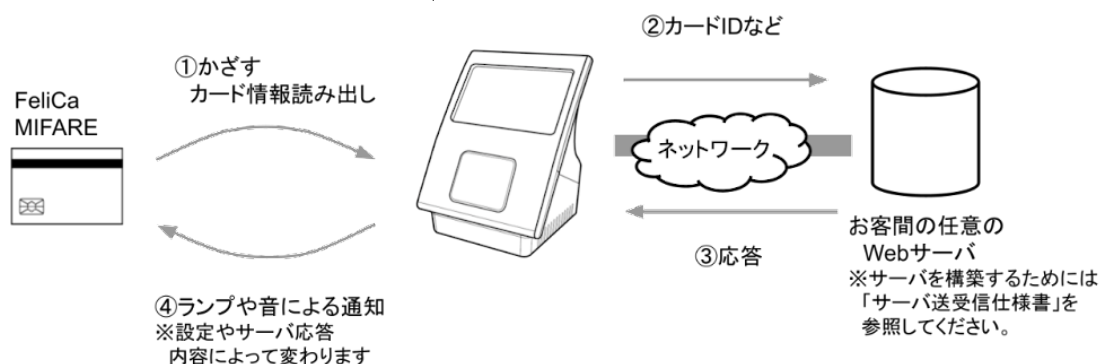
その他の商品名、会社名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中に TM マーク、® マークは明記していません。

2. はじめに

2.1. 概要

ピットタッチ・プロ3には、コンテンツプロバイダが開発したコンテンツセットをブラウザベースの実行環境に読み込ませることにより、ユーザーインターフェース・通信・非接触ICなどを動作させる機能があります。本製品には、勤怠打刻端末として動作させるためのコンテンツセットがあらかじめインストールされています。以下のような構成・手順で使用します。

●サーバを利用する場合（オンラインモード）

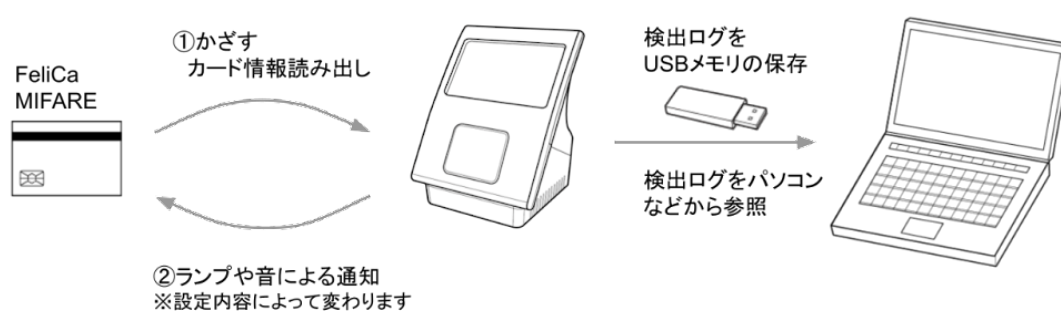


本製品が非接触IC（FeliCaカードまたはMIFAREカード）を検出してカードIDやカード情報を読み出すと、あらかじめ設定したサーバに対して、そのカードIDなどの情報をHTTP通信またはHTTPS通信で送信します。サーバは通知された情報をもとに返答を作成し、応答します。本製品はその応答によって、メッセージの表示や音声の再生を行います。

※カードIDはFeliCa IDまたはMIFARE UIDとなります。

※カード情報は、カード内の領域に記録されている情報で、あらかじめ設定された内容に従って読み取ります。

●サーバを利用しない場合（オフラインモード）



設定によって、サーバを利用しないオフラインモードを利用することができます。非接触ICを検出してカードIDやカード情報を読み出し、本製品の設定に従って音声の再生を行います。

●用意していただくもの

以下のものが別途必要です。

- ・非接触IC（FeliCaカードまたはMIFAREカード）

- Webサーバ、ソフトウェア（オフラインモードをご利用の場合は不要です。）
- USBメモリ（本製品からデータをUSBで取得する時に使用します。USBへの保存は、オンライン・オフラインどちらのモードでも可能です。）

Webサーバとして動作するパソコン（サーバ）と、サーバ上で動作する本製品と通信するためのソフトウェアが必要です。

※サーバを構築する際、ソフトウェアは別途お客様にてご用意ください。また、本製品との通信に必要な情報については「ピットタッチ・プロ3 勤怠パッケージ/登降園パッケージ サーバ送受信仕様書」を参照してください。



重要

NFCスマートフォンの場合、FeliCaIDが乱数になる場合があります。また、本パッケージの設定をFeliCa/MIFAREの両方を使う設定にしてNFCスマートフォンをかざすと、FeliCa/MIFAREのどちらかが検出されて意図しないIDを通知する場合があります。混乱することがありますのでNFCスマートフォンのご利用は、できるだけ避けてください。

2.2. 本製品でできること

勤怠パッケージの主な機能は、以下のとおりです。

- 標準ステータスボタン [ボタンなし] / [出勤] [退勤] / [出勤] [退勤] [外出] [戻り] / [出勤] [退勤] [休憩] [戻り] の切り替え
- カスタムステータスボタン
- 食事予約ボタン [注文しない] [注文する/A] [B] [C] [D] の切り替え
- 非接触IC [FeliCaのみ] [MIFAREのみ] [FeliCaとMIFARE両方] の切り替え
- 非接触ICカードの領域の読み取り
- HTTPまたはHTTPSを使用したサーバ通信（※HTTP認証には対応していません。）
- サーバ通信に失敗した場合の再送
- サーバへ送信するクエリのフォーマットの変更
- サーバの応答内容による画面へのメッセージ表示、音声の再生、本体時刻の修正
- コンソールログへの送信ログ表示
- サーバへ送信、またはログに記録するステータス値の変更
- 時間帯に応じたステータスの自動変更
- オフラインモード
- USBメモリへの検出ログ保存
- ローカルカード登録、USBメモリへの登録情報出力
- リモートカード登録/削除

ピットタッチ・プロ3本体の主な機能は、以下のとおりです。

- ネットワーク通信（LAN/通信モジュール/無線LANモジュール/プロキシ通信）
- Web設定ページからの設定変更
- コンテンツセットの更新
- プロバイダ設定ファイルの更新
- ファームウェアの更新

2.3. 設定の変更

勤怠パッケージの設定は、「プロバイダ設定ファイル」というファイルを使って行います。詳しくは「[10. 勤怠パッケージの設定](#)」を参照してください。

3. 打刻方法

3.1. メイン画面



(1) 管理ボタン

管理画面を表示します。管理画面では、検出ログの保存とカードの登録が行えます。

→ [「5. 管理画面」](#)

設定によって、管理者パスワードが設定されている場合があります。この場合、管理者パスワード入力画面で管理者パスワードを入力すると管理画面が表示されます。



管理者パスワードは、プロバイダ設定ファイルで設定します。管理者パスワードを忘れた場合は、再度、プロバイダ設定ファイルで設定してください。
設定ファイルについては [「10. 勤怠パッケージの設定」](#) を参照してください。

(2) 未送信データ件数

サーバに送信できていない勤怠データの件数が表示されます。未送信データがない場合は何も表示されません。未送信データが10000件になると未送信データフル画面が表示され、それ以上の打刻は行えません。

(3) ネットワークアイコン

ネットワークの接続状態が表示されます。
ネットワークアイコンを押すと、ネットワーク情報画面を表示します。

→ [「4. ネットワーク情報画面」](#)



接続中 ネットワークに接続中の状態です。



未接続 ネットワークに接続していない状態です。

MEMO

接続中のアイコンが表示されている状態でも、IPアドレスが正しくない等の理由で通信できない場合があります。通信できないときは、ネットワークの設定を確認してください。

(4) 標準ステータスボタン
ステータスを選択します。

(5) 食事予約ボタン
食事予約の有無、および予約する食事の種類（A～D）を切り替えます。食事予約ボタンはステータスボタンで「出勤」を選択した場合にのみ表示されます。

3.2. 打刻とステータス

3.2.1. 選択中のステータスで打刻



カードをかざすと、現在選択中のステータス（上図では「出勤」が選択中）で打刻することができます。各ステータスボタンを押すと、選択中のステータスを変更できます。

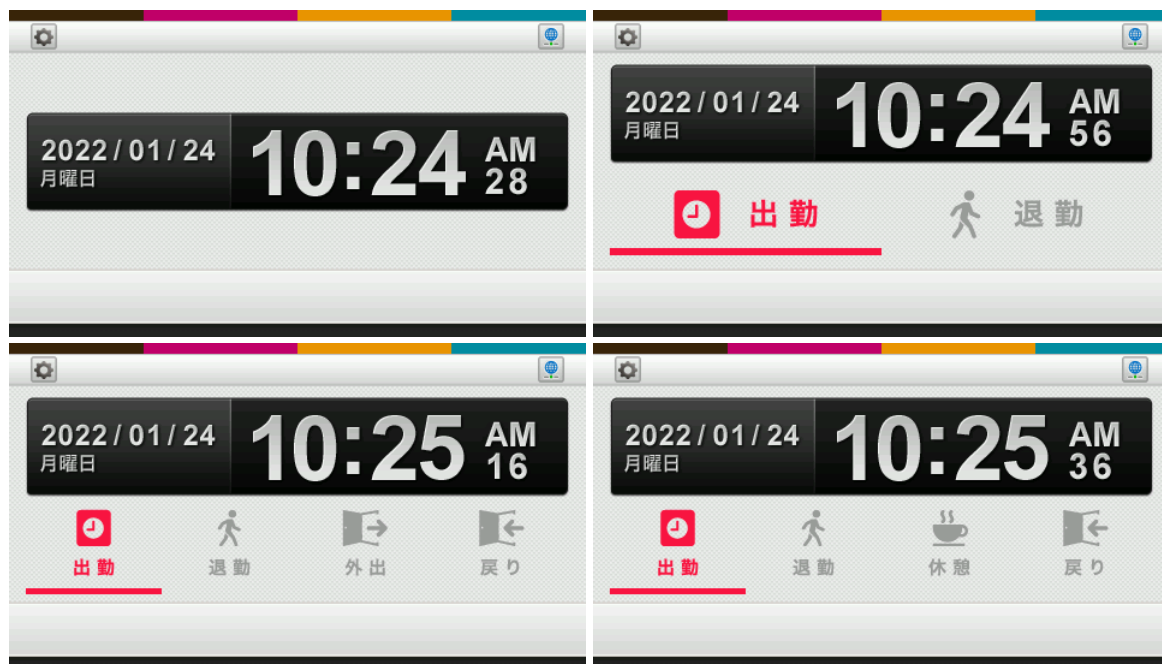
かざす際は、本製品の非接触IC読み取り部に、非接触IC（FeliCaカードまたはMIFAREカード）をかざします。
※非接触ICを、本製品の非接触IC読み取り部の中心に当て、ランプが点灯するまでかざし続けてください。



カードをかざした直後に、電源ボタンを押さないでください。
カードをかざしたことが記録されないなど、正常に動作しない場合があります。

ステータスボタンは、設定により以下の4パターンから選択できます（標準ステータスボタン）。

- ・ ボタンを表示しない
- ・ [出勤] [退勤]
- ・ [出勤] [退勤] [外出] [戻り]
- ・ [出勤] [退勤] [休憩] [戻り]



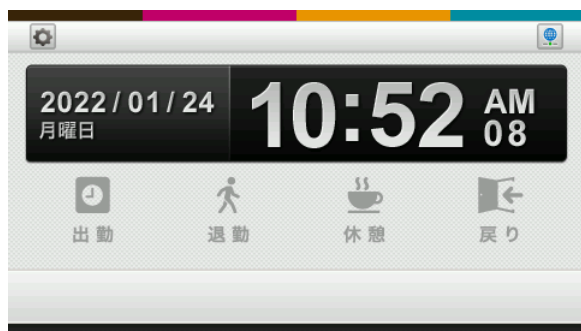
また、カスタムステータスボタン機能を使用すると、ステータスボタンの数と文字を任意に変更することができます。



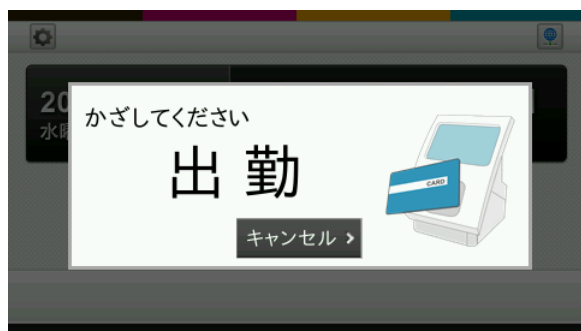
カスタムステータスボタンに関しては、「[8. カスタムステータスボタン](#)」をご参照ください。

3.2.2. ステータスを毎回選択して打刻

標準ではいずれかのステータスボタンが選択されていてそのままカードをかざして打刻しますが、毎回必ずステータスを選択してからカードをかざす運用にすることもできます。この運用にするには設定値 [ステータス選択] を [未選択状態] に設定します。



いずれかのステータスボタンを押すとカードかざし画面が表示されます。カードをかざすと打刻が行えます。



[キャンセル] ボタンを押すか、一定時間が経過すると、メイン画面に戻ります。メイン画面に戻る時間は設定値 [カード待ち時間] で変更できます。

MEMO

[ステータス選択] 設定を [未選択状態] に設定した場合、以下の機能は利用できません。

- ・食事予約ボタン
- ・ステータス自動変更

設定されている場合は、設定値エラーとなります。

3.2.3. 食事予約ボタン

標準ステータスボタンの下に、食事予約ボタンを設定することができます。

食事予約ボタンは、[出勤] を選択すると表示され、設定により以下のパターンから選択できます。デフォルトでは [注文しない] が選択されています。

- ・ボタンを表示しない
- ・ [注文する] [注文しない]
- ・ [A] [B] [注文しない]
- ・ [A] [B] [C] [注文しない]
- ・ [A] [B] [C] [D] [注文しない]



食事予約ボタンの状態は、[食事ステータス]として打刻データに含まれます。

MEMO

食事予約ボタンは、以下の場合は使用できません。

- ・カスタムステータスボタンを使用している
- ・設定値 [ステータス選択] を [未選択状態] に設定している

3.3. サーバありで運用する（オンラインモード）

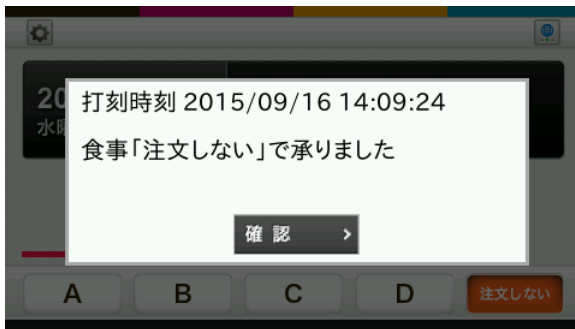
設定値 [オフラインモード] を [使用しない] に設定している場合、打刻データは検出ログとして保存され、また指定されたサーバへ送信されます。

3.3.1. 動作フロー

1. 製品の非接触IC読み取り部に、非接触IC（FeliCaカードまたはMIFAREカード）をかざします。
2. 本製品が非接触IC（FeliCaカードまたはMIFAREカード）のカードIDを読み取り、読み取った情報を設定に従ってサーバに通知します。



3. サーバからの応答によって、画面へのメッセージ表示、音声再生、本体時刻の修正が行われます。
 ※サーバからの応答および実行される動作についての詳細は、サーバを提供している事業者を確認してください。



メッセージ表示は、サーバからの応答にメッセージ表示の指示が含まれている場合に表示されます。
 (上のメッセージは一例です。)

[確認] ボタンを押すか、設定値 [メッセージ表示時間] で設定した時間が経過すると、メイン画面が表示されます。

メッセージ指示の表示が含まれていない場合は、すぐにメイン画面が表示されます。

3.3.2. 再送と代理応答

ネットワーク障害やサーバが反応しないなど、打刻データをサーバに送信できなかった場合には、設定値 [再送機能] により以下の動作を行います。

- [再送しない] の場合
エラー音が鳴ります。
- [再送する] の場合
設定値 [代理応答音] で指定された音を鳴らし、打刻データの再送を行います。
この動作を「代理応答」と呼びます。

MEMO

サーバから応答を受信したものの未対応のフォーマットだった場合には、デフォルトではエラー音が鳴ります。その場合にも代理応答させるには、設定値 [未対応フォーマット応答受信] を [代理応答設定に従う] に変更してください。

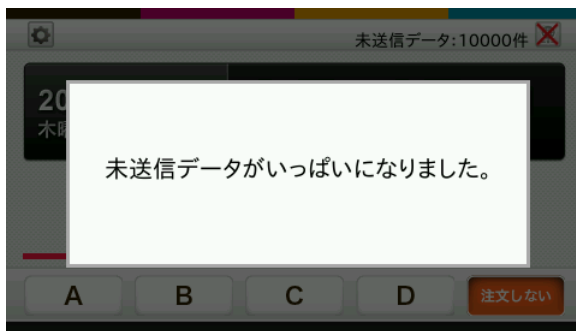
MEMO

再送設定では、ネットワーク障害などによりサーバから正しく応答が得られなかった場合に再送が行われます。ネットワークの状態によっては、サーバにHTTPリクエストは到達しているが、HTTPレスポンスが得られないために、再送になることがあります。この場合、サーバに同じ打刻データが複数送信されることがあります。以下の方法で対応することができます。

- ・タイムアウトをさせないように、勤怠パッケージ設定の接続タイムアウト値を長く設定して、応答を待つ
- ・サーバ側で同じ打刻データを受信した場合は、重複データを除外する
(サーバに送信するパラメータに「送信状態」というパラメータがあり、検出時の通信か再送の通信かを判断することができます)

再送機能、代理応答機能の詳細は「ピットタッチ・プロ 勤怠パッケージ サーバ送受信仕様書」を参照してください。

3.3.3. 未送信データフル画面



未送信データ件数が10000件になると表示されます。この画面が表示されている間は非接触ICをかざすことができません。

未送信データがサーバへ再送されて10000件未満になると、メイン画面が表示されます。

MEMO

設定やネットワーク環境を確認してください。サーバ通信が可能になると、未送信データフルの状態が解消されます。

未送信データを含むすべての検出ログを削除する場合は、設定値 [データベースインデックス] の値を変更してください。

なお、検出ログを削除する前に、検出ログをUSBメモリに保存することをお勧めします。

→ [「6. 検出ログ取得」](#)

3.4. サーバなしで運用する（オフラインモード）

設定値 [オフラインモード] を [使用する] に設定している場合、打刻データはサーバに送信せず、検出ログの記録のみを行うオフラインモードで動作します。

検出ログのUSBメモリ保存機能と併用することで、サーバを使わずに運用することができます。

→「[6. 検出ログ取得](#)」

3.4.1. 動作フロー

1. 製品の非接触IC読み取り部に、非接触IC（FeliCaカードまたはMIFAREカード）をかざします。
2. 本製品が非接触IC（FeliCaカードまたはMIFAREカード）のカードIDを読み取り、読み取った情報を検出ログに保存します。
3. 設定値〔代理応答〕に応じた音声再生を行います。

打刻情報はサーバには送られません。

MEMO

オフラインモードをご利用の場合、検出ログの最大件数10000件に達すると一番古い検出ログが削除され、新しい検出ログが記録されます。

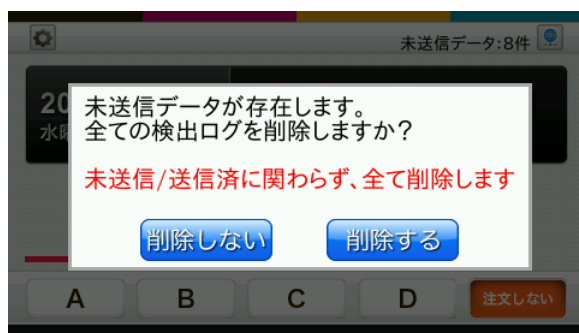
MEMO

オフラインモードをご利用の場合、定期的な時刻合わせが必要です。
時刻合わせについては、FAQの「[●時刻を設定したい](#)」をご覧ください。
※使用状況や環境により異なります。

3.4.2. オンラインモードからオフラインモードへの切替時の注意事項

オンラインモードで打刻した未送信データが残っている状態でオフラインモードに切り替えると、未送信データはいつまでも再送されずに残り続けます。

未送信データがある状態でメイン画面を表示すると、以下の画面が表示されます。



〔削除する〕ボタンを押すと、本製品に記録されている検出ログをすべて削除してからオフラインモードでの運用を開始します。

MEMO

検出ログを削除する前に、検出ログをUSBメモリに保存することをお勧めします。

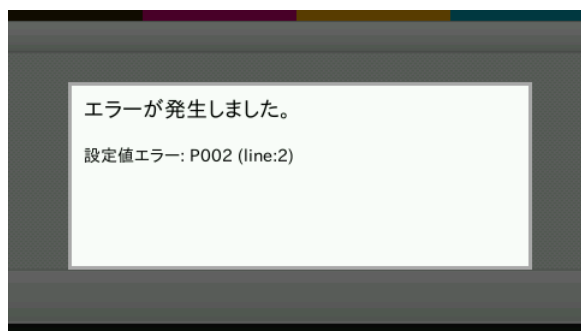
→「[6. 検出ログ取得](#)」

MEMO

オフラインモードでは再送を行わないため、未送信データは残り続けます。この状態で本製品を使用し続けた場合、記録できる検出ログの最大件数が未送信データの数だけ少なくなります。

検出ログを削除しない場合は、オンラインモードに変更して未送信データをすべてサーバへ送信してからオフラインモードを設定してください。

3.5. エラー画面



勤怠パッケージの設定値が不正であるなどの理由で、勤怠打刻の動作が正常にできない場合に表示されます。以下のように対処してください。

エラー種別	内容	対処方法
設定値エラー	勤怠パッケージの設定が不正	プロバイダ設定ファイルの設定内容を確認してください。設定値エラーの詳細については、「 10.3. 設定値エラー 」を参照してください。
初期設定値エラー	勤怠パッケージの工場出荷時設定が不正	本製品を再起動してください。再起動後も同じエラーが続けて表示される場合は販売元へご連絡ください。
内部エラー	動作時に想定外のエラーを検出	

3.6. 便利な機能

本製品では勤怠管理を行ううえで便利な機能を用意しています。

3.6.1. ステータス値を変更する

ステータスをサーバに送信したり検出ログに保存する際は、以下のステータス値が使用されます。

ステータス	ステータス値
出勤	1
退勤	2
外出／休憩	3
戻り	4

ステータス値を変更するには、設定値 [ステータス値 (出勤)] ～ [ステータス値 (戻り)] を変更してください。設定可能な値は1～4です。

MEMO

検出ログに記録されるステータス値も設定に従って変更されます。ただし、設定変更前の検出ログデータは変更されません。

3.6.2. 時間帯に応じてステータスを自動で変更する

特定の時間帯になるとステータスを自動で変更することができます。

設定は設定値 [ステータス自動変更設定] で行います。時間帯は2つまで設定することができます。2つの時間帯を重複して設定することはできません。

例えば、9：00～11：00は [出勤] に、17：00～22：00は [退勤] に変更する、といった設定ができます。

以下のタイミングで自動的にステータスが変わります。

- ・時間帯内に管理画面などから戻り、メイン画面を表示するとき
- ・メイン画面で時間が経過し、設定した時間帯に入ったとき
- ・時間帯内で打刻処理が終了したとき
- ・時間帯内にステータスを手動で変更したあと、ステータスボタンまたは食事予約ボタンが1分間押されなかったとき

3.6.3. 直ちに打刻完了をお知らせする

ネットワーク環境によってはサーバ通信の完了に時間がかかり、ユーザーへの打刻完了通知が遅れることがあります。

再送機能と代理応答機能を利用し、さらに設定 [接続タイムアウト] を [0] に設定することで、ユーザーに対して直ちに打刻完了を通知し、後ほど再送によってサーバ通信を行うことができます。

再送機能、代理応答機能の詳細は「ピットタッチ・プロ 勤怠パッケージ サーバ送受信仕様書」を参照してください。

3.6.4. 時刻を24時間表示にする

メイン画面で表示する時刻を12時間表示、24時間表示のどちらかに設定できます。表示を変更するには、設定値 [時刻表示] を変更してください。

3.6.5. カード内の情報を利用する

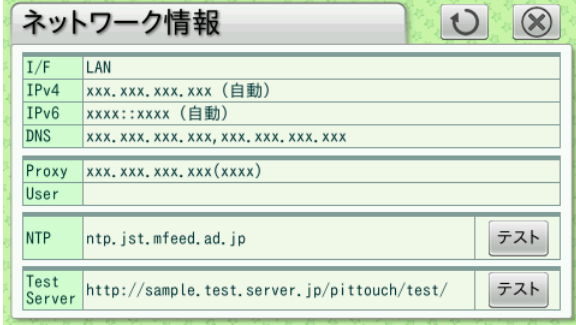
あらかじめ設定された内容に従って、カード内の領域に記載されている情報を読み取り、その情報をサーバへ通知します。

→「[9. カード情報の読み取り](#)」


4. ネットワーク情報画面

4.1. ネットワーク情報画面

メイン画面右上のネットワークアイコンを押すと、ネットワーク情報画面を表示します。ネットワーク情報画面で各種ネットワークの情報を見ることができます。



ネットワーク情報	
I/F	LAN
IPv4	xxx.xxx.xxx.xxx (自動)
IPv6	xxxx::xxxx (自動)
DNS	xxx.xxx.xxx.xxx, xxx.xxx.xxx.xxx
Proxy	xxx.xxx.xxx.xxx(yyyy)
User	
NTP	ntp.jst.mfeed.ad.jp <input type="button" value="テスト"/>
Test Server	http://sample.test.server.jp/pittouch/test/ <input type="button" value="テスト"/>

ネットワーク状況に変化があった場合は、自動的に更新します。  ボタンを押して、手動で更新することもできます。

この画面を閉じてメイン画面に戻るには、  ボタンを押します。

4.2. 疎通確認

NTPの項目にあるテストボタンを押すと、NTPサーバへ疎通テストを行います。疎通テストのみで、時刻合わせはしません。

NTPサーバのアドレスは、ピットタッチプロ本体設定の設定値です。

TestServerの項目にあるテストボタンを押すと、設定値 [テストサーバURL] に設定されているテストサーバに疎通テストを行います。設定がない場合は、エラーになります。

疎通テストの内容は、テストサーバからHTTPレスポンスが返ってくるかどうかで、レスポンスの内容は問いません。

5. 管理画面

5.1. 管理画面を表示する

メイン画面左上の管理ボタンを押すと、管理画面が表示されます。各ボタンを選択し、検出ログのUSBメモリへの保存、本製品へのカード名の登録（ローカルカード登録）または、サーバへのカードの登録／削除（リモートカード登録／削除）を行います。

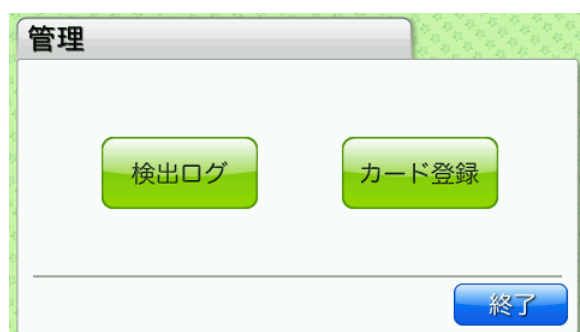
管理者パスワードが設定されている場合は、管理画面が表示される前に、管理者パスワード入力画面が表示されます。



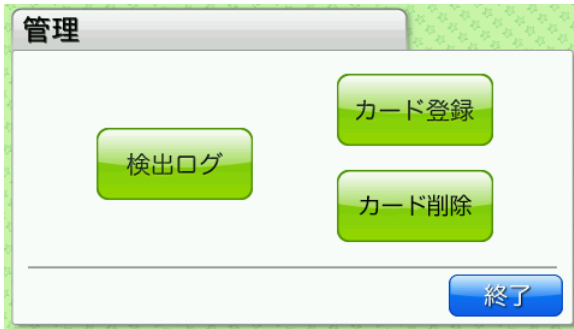
管理者パスワードは、プロバイダ設定ファイルで設定します。管理者パスワードを忘れた場合は、再度、プロバイダ設定ファイルで設定してください。
設定ファイルについては「[10. 勤怠パッケージの設定](#)」を参照してください。

管理画面は、設定値 [カード登録モード] により表示される画面が異なります。

- ・ [ローカル] または [リモート登録] の場合



- ・ [リモート登録/削除] の場合



6. 検出ログ取得

6.1. 検出ログをUSBメモリに保存する

非接触ICを本製品にかざすと、検出ログが記録されます。本製品に記録された検出ログをUSBメモリに保存し、パソコンなどから参照できます。

管理画面で「検出ログ」ボタンを押すと、検出ログ画面が表示されます。指定した期間内に検出・記録した検出ログを、検出ログファイルとしてUSBメモリに保存できます。

検出ログおよび検出ログファイルの内容については「[11. 検出ログ](#)」を参照してください。

検出ログ		
保存開始日	2021/12/01	変更
保存終了日	2022/01/28	変更

保存

戻る 終了

保存開始日 指定した日付以降に検出・記録したログを保存します。管理画面から検出ログ画面を表示した時点では、前月の1日の日付が表示されています。

保存終了日 指定した日付以前に検出・記録したログを保存します。管理画面から検出ログ画面を表示した時点では、現在の日付が表示されています。

それぞれの項目で「変更」ボタンを押すと、日時設定画面が表示されます。

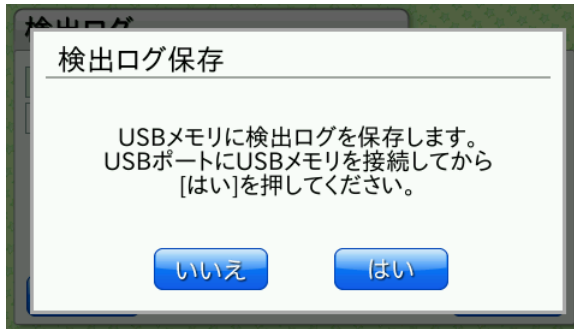
日時設定

2021 12 1

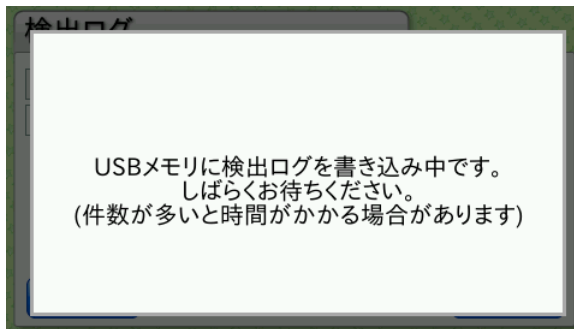
キャンセル 設定

日付の設定後「設定」ボタンを押すと、日付が反映され、検出ログ画面に戻ります。

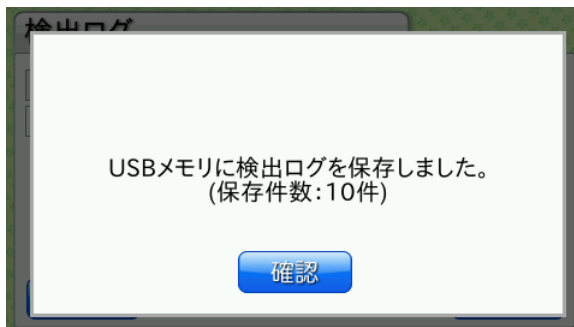
検出ログ画面で「保存」ボタンを押すと、検出ログ保存画面が表示されます。



USBメモリに検出ログを保存する場合は、USBポートにUSBメモリを接続し、[はい] ボタンを押します。



検出ログファイルがUSBメモリに保存されます。



MEMO

検出ログファイルは、USBメモリ内のルートフォルダに以下のようなファイル名で保存されます。すでに同名のファイルが存在する場合は上書きされます。

〈端末ID〉_〈現在の年月日〉_〈現在の時分秒〉.csv (例：01234567_20210905_132015.csv)

6.2. ネットワークから検出ログを取得する（外部連携CGI検出ログ取得機能）

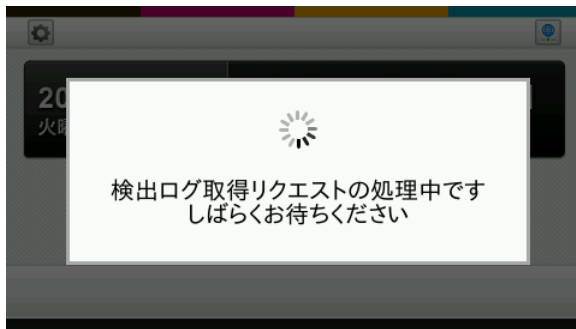
ピットタッチ・プロの機能である外部連携CGIを利用して、HTTPでアクセス可能な外部機器を使って検出ログを取得することができます。

取得できる検出ログは、USBメモリに保存できる検出ログと同一です。

MEMO

検出ログ取得のリクエストを発行する外部機器（PC等）、及び外部機器で動作する取得アプリケーションは、お客様にて別途ご用意いただく必要があります。
HTTPのPOSTを利用するため、ブラウザの通常のアクセス（GET）では、利用することはできません。

この機能を利用する場合は、設定値 [ネットワークでの検出ログ取得設定] を [利用する] に設定した上で、メイン画面を表示した状態で外部機器からアクセスを行ってください。
外部機器からのアクセス方法については、「ピットタッチ・プロ 勤怠パッケージ 外部連携CGI仕様書」を参照してください。



ネットワークから検出ログを取得しているときは上記の表示になります。この画面が表示されている間は、打刻などの操作はできません。しばらく待って、画面が消えてから操作をしてください。

7. カード登録機能

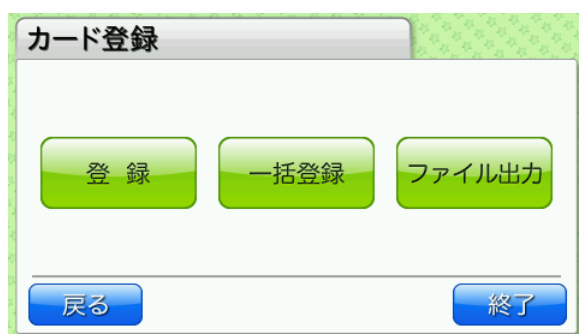
7.1. カードの名前を本製品に登録する（ローカルカード登録）

本製品に、非接触ICごとの名前を登録することができます。登録した名前は、打刻データをサーバへ送信する際に一緒に送られます。また検出ログにも記録されます。

ローカルカード登録を利用する場合は、設定値 [カード登録モード] を [ローカル] に設定してください。工場出荷時は、[ローカル] に設定されています。

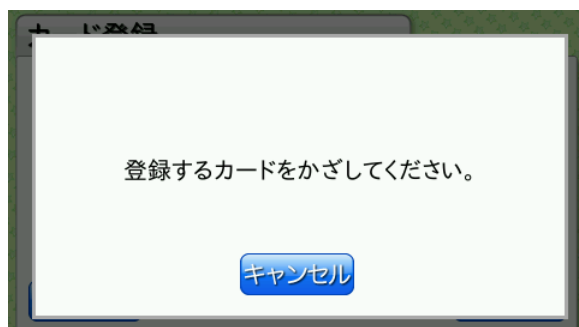
管理画面で [カード登録] ボタンを押すと、カード登録画面が表示されます。

非接触ICを本製品にかざして名前を登録したり、USBメモリに保存したカード登録情報ファイルを使って一括登録したり、本製品に登録済みの情報をUSBメモリへ出力することができます。



■登録

カード登録画面で [登録] ボタンを押すと、次の画面が表示され、本製品の非接触IC読み取り部のランプが点滅します。



登録する非接触ICを本製品の非接触IC読み取り部の中心に当て、ランプの点滅パターンが変わるまでかざし続けてください。非接触ICを検出すると音が鳴り、登録名入力画面が表示されます。

登録名

abc	a	b	c	d	e	f	後退	
ABC	g	h	i	j	k	l		取消
123	m	n	o	p	q	r		
記号	s	t	u	v	w	x		OK
	y	z		←	→	⏏		

登録名を入力後 [OK] ボタンを押すと、登録が実行されます。

MEMO

登録名について

登録名には1文字以上入力してください。

同じ登録名を複数の非接触ICに登録できます。

登録名は1～32文字のASCIIで登録します。以下の文字を使用できます。

- ・半角英数
- ・半角スペース

・ ! # \$ % & () _ + - * / = | ; : [] < > ? . ^ @

MEMO

非接触ICは300件まで登録できます。300件を超えて登録した場合、設定によってエラーになるか、または、更新日時の古いものから順に削除されます。工場出荷時は、エラーになるように設定されています。

MEMO

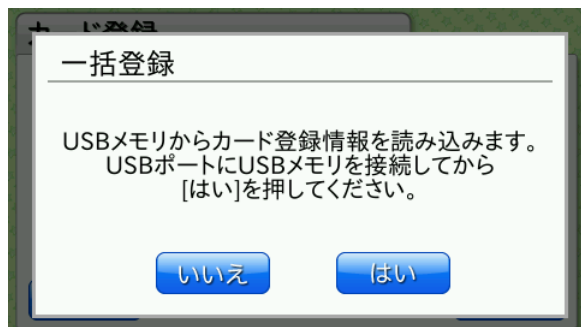
かざした非接触ICがすでに登録済みの場合、登録名入力画面に登録済みの名称が表示されます。必要に応じて変更してください。

MEMO

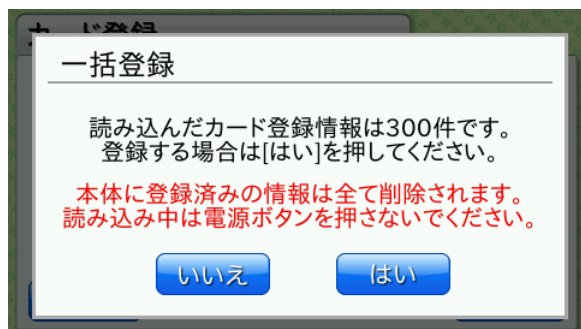
サーバへの再送時には、非接触IC検出時点の登録名ではなく、再送信するタイミングで登録されている登録名が使用されます。

■一括登録

カード登録画面で [一括登録] ボタンを押すと、一括登録画面が表示されます。



USBメモリから本製品にカード登録情報を読み込む場合は、ルートフォルダにカード登録情報ファイル（ファイル名「cardinfo.csv」）を保存したUSBメモリをUSBポートに接続し、 [はい] ボタンを押します。ファイルが正しければ、次の確認画面が表示されます。



登録件数を確認し、 [はい] ボタンを押します。本製品に登録されているカード登録情報が置き換わります。



重要

一括登録を行うと、本体に登録済みの情報はすべて削除されます。



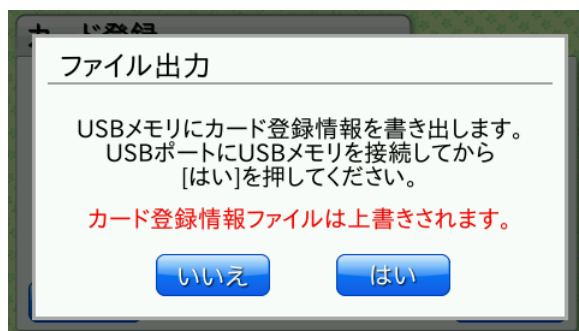
重要

カード登録情報の読み込み中に電源ボタンを押すと、正しく登録されないことがあります。カード登録情報の読み込み中は、電源ボタンを押さないでください。

カード登録情報ファイルが不正な場合はエラーになります。ファイルを修正し、再度登録を行ってください。

■ファイル出力

カード登録画面で [ファイル出力] ボタンを押すと、ファイル出力画面が表示されます。



USBメモリにカード登録情報を書き出す場合は、USBポートにUSBメモリを接続し、 [はい] ボタンを押します。

カード登録情報ファイルがUSBメモリに保存されます。

MEMO

カード登録情報ファイルはUSBメモリ内のルートフォルダにファイル名「cardinfo.csv」として保存されます。すでに同名のファイルが存在する場合は上書きされます。

MEMO

本体に登録されているカード登録情報を削除・変更するには、USBメモリに書き出したファイルをパソコンなどで編集して、一括登録を行ってください。

■カード登録情報ファイル

USBメモリとカード登録情報ファイルを使って登録名を一括登録できます。また、ファイル出力を行う際も同じフォーマットのカード登録情報ファイルが出力されます。

カード登録情報ファイルは、「,」（半角カンマ）で区切られたCSVファイルです。

一括登録時にカード登録情報ファイルに記述できるのは、最大300件までです。また、ファイル内に同じカードIDの情報がある場合はエラーになります。

ファイル出力時には、登録日時順に保存されます。一番上が最も古い登録情報です。

記述例

```
1234567890ABCDEF,pitouch,2021/09/06 18:45:56,2021/09/28 10:48:10
```

ファイルの内容は以下の通りです。

項目	表示内容	説明
カードID	FeliCa：16桁の16進数値 MIFARE：8～20桁の16進数値 (英字は大文字)	登録する非接触ICのカードIDです。

項目	表示内容	説明
登録名	1～32文字 <ul style="list-style-type: none"> ・半角英数 ・半角スペース ・!#S%&()_+~*/=;:[]<>?.^@ 	カードIDに対応する登録名です。
登録日時	YYYY/MM/DD hh:mm:ss	本体設定の管理画面> [カード登録] > [登録] から新規にカード登録を行った日時です。 一括登録時は省略可能です。省略した場合は、一括登録を実行した日時が登録されます。
変更日時	YYYY/MM/DD hh:mm:ss	本体設定の管理画面> [カード登録] > [登録] からすでに登録済みのカード登録名を変更した日時です。変更がない場合は登録日時と同じ値になります。 一括登録時は指定されていても無視され、一括登録を実行した日時が登録されます。

7.2. サーバにカードを登録する（リモートカード登録）

リモートカード登録を利用する場合は、設定値 [カード登録モード] を [リモート登録]、または、[リモート登録/削除] を設定してください。

リモートカード登録により、サーバ上のID(アカウント)に対して、ICカードを登録することができます。管理画面で [カード登録] ボタンを押し、リモートカード登録画面を表示します。

※設定値 [登録パスワード設定] を [パスワードあり] に設定した場合はパスワード入力フィールドも表示されます。

[入力] ボタンを押すと、IDとパスワードの入力ダイアログが表示されます。サーバ上のIDとパスワードを入力します。

ID

sample@sstinc.co.jp

abc	a	b	c	d	e	f	後退	
ABC	g	h	i	j	k	l		
123	m	n	o	p	q	r		取消
記号	s	t	u	v	w	x		
	y	z	短	←	→	⏪		OK

パスワード

passwordpassword

abc	a	b	c	d	e	f	後退	
ABC	g	h	i	j	k	l		
123	m	n	o	p	q	r		取消
記号	s	t	u	v	w	x		
	y	z		←	→	⏪		OK

MEMO

入力手間を省くため、よく利用する文字を登録することができます。（短縮メニュー）
 設定値 [ID入力短縮メニュー] を設定すると、左矢印ボタンの左隣に「短」ボタンが表示されます。「短」ボタンを押すと、設定された短縮メニューを表示します。短縮メニューを押すと、選択された文字を入力します。短縮メニューは、最大5個まで設定できます。

ID

sample@sstinc.co.jp

abc	a	@sstinc.co.jp	後退
ABC	z	@docomo.ne.jp	
123	←	@ezweb.ne.jp	
記号	x	@softbank.ne.jp	
	←	012345678901234567890123...	

リモートカード登録

ID	sample@sstinc.co.jp	入力
----	---------------------	----

照 会

戻る 終了

リモートカード登録

ID	sample@sstinc.co.jp	入力
パスワード	passwordpassword	入力

照 会

戻る 終了

入力後 [照会] ボタンを押すと、ID・パスワードをサーバへ送り、対応するユーザの情報が表示されます。対応するユーザが見つからない場合は、エラーが表示されます。

リモートカード登録

ID	sample@sstinc.co.jp
番号	1023
ユーザ名	サンプル 太郎

上記のユーザにカード登録を行います

カード登録

戻る 終了

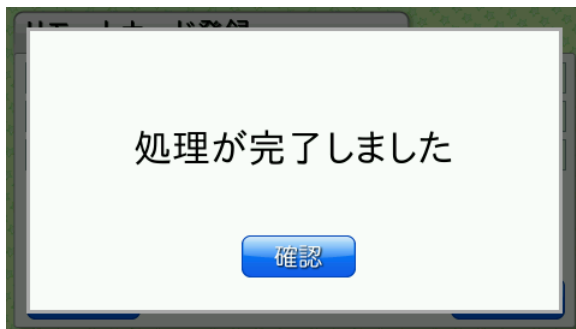
MEMO

IDやパスワード、番号、ユーザ名に入力、表示する内容は、ご利用のサービスによって異なります。内容につきましては、ご利用のサービスのサポートにお問い合わせください。

確認後、カード登録ボタンを押すと、次の画面が表示され、本製品の非接触IC読み取り部のランプが点滅します



登録する非接触ICを本製品の非接触IC読み取り部の中心に当て、ランプの点滅パターンが変わるまでかざし続けてください。非接触ICを検出すると音が鳴り、登録が完了した旨の画面が表示されます。

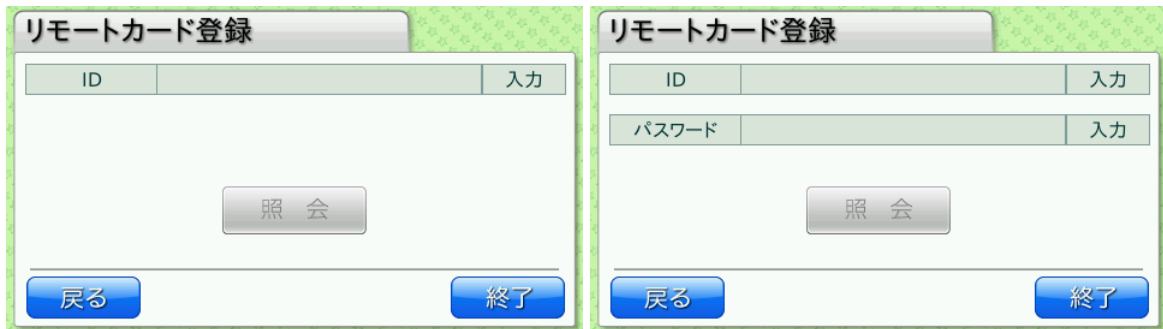


7.3. サーバに登録されているカードを削除する（リモートカード削除）

リモートカード削除を利用する場合は、設定値 [カード登録モード] を [リモート登録/削除] を設定してください。

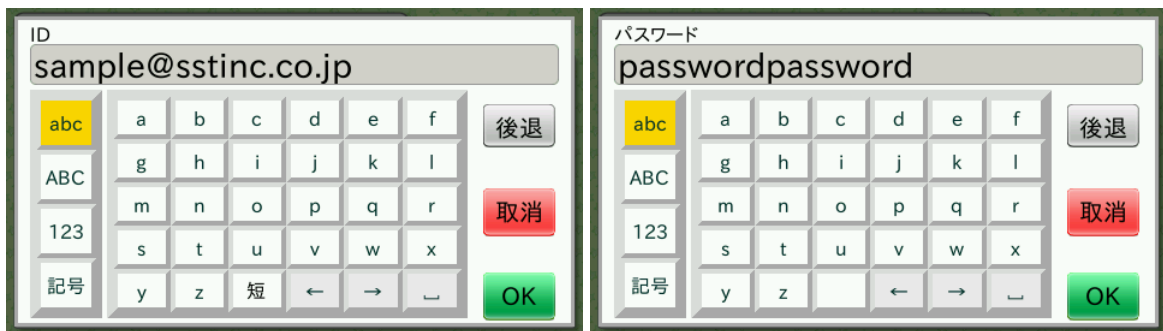
リモートカード削除により、サーバ上のID(アカウント)に対して登録されているICカードを削除することができます。

管理画面で [カード削除] ボタンを押し、リモートカード削除画面を表示します。



※設定値 [登録パスワード設定] を [パスワードあり] に設定した場合はパスワード入力フィールドも表示されます。

[入力] ボタンを押すと、IDとパスワードの入力ダイアログが表示されます。サーバ上のIDとパスワードを入力します。



MEMO

入力手間を省くため、よく利用する文字を登録することができます。(短縮メニュー)
 設定値 [ID入力短縮メニュー] を設定すると、左矢印ボタンの左隣に「短」ボタンが表示されます。「短」ボタンを押すと、設定された短縮メニューを表示します。短縮メニューを押すと、選択された文字を入力します。短縮メニューは、最大5個まで設定できます。



入力後 [照会] ボタンを押すと、ID・パスワードをサーバへ送り、対応するユーザに登録されているカード名が表示されます。

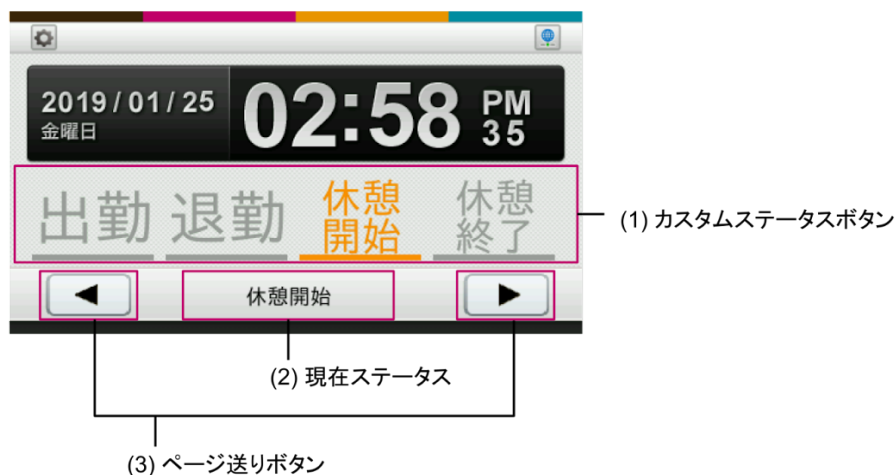
削除したいカードの削除ボタンを押すと、確認の画面が表示されます。確認後、カードを削除します。

8. カスタムステータスボタン

8.1. カスタムステータスボタンとは

メイン画面の標準ステータスボタンの領域をカスタマイズすることができます。

- ・ ボタン数は2個から20個まで
- ・ ボタンのラベル文字を自由に設定できます。



(1) カスタムステータスボタン
ステータスを選択します。

(2) 現在ステータス
現在選択中のカスタムステータスを表示します。設定値 [ステータス選択] を [未選択状態] にした場合は表示されません。

(3) ページ移動ボタン
カスタムステータスボタンのページを移動します。カスタムステータスボタンが、5個以上設定されているときに、表示されます。

MEMO

カスタムステータスボタンを使用するときは、食事予約ボタンは利用できません。

8.2. 設定方法

利用する場合は、[ステータス切り替え] の設定値を [99] に設定の上、ボタンの数、それぞれの表記やステータス値などを設定してください。

設定例:

```
# ボタンの個数を決めて、status.custom.sizeに記述します。  
status.custom.size=3
```

```
# 記述した個数分、タイトル、ステータス値、代理応答音を記述します。
# 各keyの最後には、何番目のボタンかを表す番号を記述します。
status.custom.title.1=出勤
status.custom.value.1=1
status.custom.agency.1=1008
status.custom.title.2=退勤
status.custom.value.2=2
status.custom.agency.2=1010
status.custom.title.3=休憩¥n開始
status.custom.value.3=4
```

代理応答音を利用しない場合は、代理応答音の記述は、省略することができます。
必要な値がない場合は、起動時にエラーになります。

各設定値の詳細と設定方法は、「[10. 勤怠パッケージの設定](#)」を参照してください。

8.3. タイトル表示

ボタンに表示するタイトルは、1行が全角5文字（半角10文字）で2行のレイアウトが可能です。

改行は、「¥n」と半角で記述してください。

文字コードは、UTF-8(BOM無し)を使用してください。なお、利用可能な文字は、JIS X 0213:2004で定義されている文字で絵文字などは表示されません。

文字の大きさは、ボタンの数や文字数によって、自動的に調整されます。また、文字は、センタリングされます。

以下は、ボタンの数が4つで、文字数が1行2文字と2行2文字の場合の例です。



以下は、ボタンの数が2つで、文字数が1行2文字の場合の例です。



8.4. 設定例

※ □は、半角スペースを示す

カスタムステータスボタン設定			
	名前	プロバイダ設定ファイルでのkey	設定値
	ボタンの個数	status.custom.size	8
ボタン1	タイトル	status.custom.title.1	出勤
	ステータス値	status.custom.value.1	10
	代理応答音	status.custom.agency.1	1008
ボタン2	タイトル	status.custom.title.2	退勤
	ステータス値	status.custom.value.2	20
	代理応答音	status.custom.agency.2	1010
ボタン3	タイトル	status.custom.title.3	休憩¥n開始
	ステータス値	status.custom.value.3	30
	代理応答音	status.custom.agency.3	1011
ボタン4	タイトル	status.custom.title.4	休憩¥n終了
	ステータス値	status.custom.value.4	40
	代理応答音	status.custom.agency.4	1009
ボタン5	タイトル	status.custom.title.5	呼出□□¥n□□出勤
	ステータス値	status.custom.value.5	50
	代理応答音	status.custom.agency.5	1019
ボタン6	タイトル	status.custom.title.6	呼出□□□□¥n□□□□退勤
	ステータス値	status.custom.value.6	60
	代理応答音	status.custom.agency.6	1010
ボタン7	タイトル	status.custom.title.7	私□用¥n外□出

カスタムステータスボタン設定			
	ステータス値	status.custom.value.7	70
	代理応答音	status.custom.agency.7	1011
ボタン8	タイトル	status.custom.title.8	私用¥n戻り
	ステータス値	status.custom.value.8	80
	代理応答音	status.custom.agency.8	1009



8.5. ステータス自動変更設定

カスタムステータスボタンを設定して、ステータス自動変更設定を行う場合は、[自動変更ステータス1]、[自動変更ステータス2] の値に、変更したいボタンの番号を記述してください。2個目のボタンに変更したい場合は、2となります。

カスタムステータスボタンで設定していない値を記述したときは、起動時にエラーになります。

9. カード情報の読み取り

あらかじめ設定された内容に従って、カード内の領域に記録されている情報を読み取り、その情報をサーバへ通知します。

MEMO

未送信データが残っている状態で、非接触ICの読み取りに関する設定を変更すると予期していないデータが再送信／保存されることがあります

設定を変更する前に、未送信データを全て送り終えるか、USBメモリに保存「[6. 検出ログ取得](#)」した上で削除してください。

MEMO

カード情報を読み取るには、読み取りに必要な設定の他に、設定値 [非接触IC切り替え] で、使用可能な非接触ICを設定する必要があります。

9.1. FeliCa

システムコード・サービスコードの指定を1セットとして、2セットの読み取り指定が可能です。

設定1、2の順に該当するカードを検出し、該当した設定で読み取ります。

1セットで連続している3ブロックまで読み取ることができます。

読み取ったブロックを指定方法で切り出し加工することができます。

読み取り指定に該当しないカードがかざされた場合、FeliCaIDだけをサーバへ送ることもできます。

システムコード	サービスコード	ブロック No.	データ
1234	1009	00	000102030405060708090A0B0C0D0E0F
		01	0F0E0D0C0B0A09080706050403020100
		02	00112233445566778899AABBCCDDEEFF
		03	FFEEDDCCBBAA99887766554433221100
	2009	00	00102030405060708090A0B0C0D0E0F0
		01	F0E0D0C0B0A090807060504030201000
	3009	00	00000000000000000000000000000000
	4009	00	10414243444546003031323334353637

FeliCa 読み取り設定			
	名前	プロバイダ設定ファイルでの key	設定値
	読み取り設定	rfid.felica.read	2
	対象外カード時の挙動	rfid.felica.notifytype	1
設定 1	システムコード	rfid.felica.syscode.1	0x1234
	サービスコード	rfid.felica.servicecode.1	0x1009
	読み取り開始ブロック位置	rfid.felica.block.pos.1	2
	データ切り出し開始位置	rfid.felica.data.pos.1	12
	読み取りブロック数	rfid.felica.block.size.1	2
	データ長さ	rfid.felica.data.size.1	8
	データ変換	rfid.felica.data.type.1	0
設定 2	システムコード	rfid.felica.syscode.2	0x1234
	サービスコード	rfid.felica.servicecode.2	0x4009
	読み取り開始ブロック位置	rfid.felica.block.pos.2	0
	データ切り出し開始位置	rfid.felica.data.pos.2	2
	読み取りブロック数	rfid.felica.block.size.2	1
	データ長さ	rfid.felica.data.size.2	10
	データ変換	rfid.felica.data.type.2	1

上記は、2種類のカードを読み取る例です。

- 設定 1

システムコード：0x1234、サービスコード：0x1009のカードのブロックNo.2から2ブロック分を読み取り、読み出したブロックから12バイト目から8バイト分切り出して、バイナリ文字列でサーバへ送ります。送り出される文字列は「CCDDEEFFFEEDDCC」となります。

- 設定 2

システムコード：0x1234、サービスコード：0x4009のカードのブロックNo.0から1ブロック分を読み取り、読み出したブロックから2バイト目から10バイト分切り出して、ASCII変換後URLエンコードされてサーバへ送ります。

送り出される文字列は「BCDEF+0123」となります。

設定1、設定2に該当しないカードがかざされた場合は、FeliCaIDをサーバへ送ります。

(ただし、設定値 [FeliCaシステムコード] の設定値に反応するカードに限ります)



重要

カード情報の読み取り機能は、FeliCa Standardのみ対応になります。FeliCa Lite/Lite-Sには対応していません。



FeliCa読み取りで設定したカード以外がかざされたとき、「対象外カード時の挙動」の設定に従って動作します。
「FeliCaID を通知しない」設定にした場合は、カードをかざしても無反応になります。

9.2. MIFARE

MIFAREカードの種別（Classic 1K/Classic 4K/Ultralight）ごとに2セットの読み取り指定が可能です。

設定1,2の順に該当するカードを検出し、該当した設定で読み取ります。

1セットでClassic1K/4Kの場合、同一セクタ内の連続している2アドレスまで読み取ることができます。（セクタをまたがる読み取りはできません）

また、Ultralightの場合、連続している8ページまで読み取ることができます。

読み取ったブロックを指定方法で切り出し加工することができます。

読み取り指定に該当しないMIFARE及びその他TypeAカードがかざされた場合、[対象外カード時の挙動] の設定によって、UIDのみサーバへ通知することが可能です。

セクター	ブロック	アドレス番号	データ
0	0	00	000102030405060708090A0B0C0D0E0F
	1	01	0F0E0D0C0B0A09080706050403020100
	2	02	00112233445566778899AABBCCDDEEFF
	3	03	11111111111100000000000000000000
1	0	04	FFEEDDCCBBAA99887766554433221100
	1	05	00102030405060708090A0B0C0D0E0F0
	2	06	F0E0D0C0B0A090807060504030201000
	3	07	000000000000000000002222222222
2	0	08	00000000000000000000000000000000
	1	09	41424344454647484900303132333435
	2	0A	
	3	0B	FFFFFFFFFFFF00000000000000000000
...
15	0	40	33333333333333333333333333333333
	1	41	44444444444444444444444444444444
	2	42	55555555555555555555555555555555
	3	43	00000000000000000000FFFFFFFFFFFF

MIFARE読み取り設定			
	名前	プロバイダ設定ファイルでの key	設定値
	読み取り設定	rfid.mifare.read	2
	対象外カード時の動作	rfid.mifare.notifytype	1
設定 1	読み取り対象カード	rfid.mifare.target.1	1
	読み取りアドレス番号	rfid.mifare.block.pos.1	0
	読み取りアドレス数	rfid.mifare.block.size.1	2
	鍵指定	rfid.mifare.key.type.1	1
	鍵	rfid.mifare.key.value.1	111111111111
	データ切り出し開始位置	rfid.mifare.data.pos.1	11
	データ長さ	rfid.mifare.data.size.1	10
	データ変換	rfid.mifare.data.type.1	0
設定 2	読み取り対象カード	rfid.mifare.target.2	1
	読み取りアドレス番号	rfid.mifare.block.pos.2	9
	読み取りアドレス数	rfid.mifare.block.size.2	1
	鍵指定	rfid.mifare.key.type.2	2
	鍵	rfid.mifare.key.value.2	000000000000
	データ切り出し開始位置	rfid.mifare.data.pos.2	0
	データ長さ	rfid.mifare.data.size.2	0
	データ変換	rfid.mifare.data.type.2	1

上記は、2種類のカードを読み取る例です。

- 設定 1
Classic1Kのカードのセクタ0の鍵Aを使って、0アドレス目から2アドレス分を読み取り、読み出したブロックから11バイト目から10バイト分切り出して、バイナリ文字列でサーバへ送ります。
送り出される文字列は「0B0C0D0E0F0F0E0D0C0B」となります。
- 設定 2
Classic1Kのカードのセクタ2の鍵Bを使って、9アドレス目から1アドレス分を読み取り、読み出したブロックすべてを、ASCII変換後URLエンコードされてサーバへ送ります。
送り出される文字列は「ABCDEFGHI+012345」となります。
設定1、設定2に該当しないカードがかざされた場合は、UIDをサーバへ送ります。



重要

MIFARE読み取りで設定したカード以外がかざされたとき、「対象外カード時の挙動」の設定に従って動作します。
「UIDを通知しない」設定にした場合は、失敗音で通知します。このとき、本製品の非接触IC読み取り部のランプが緑に点灯します。

10. 勤怠パッケージの設定

10.1. 設定方法

勤怠パッケージの設定は、プロバイダ設定ファイルで行います。

プロバイダ設定ファイルはWeb設定ページから更新できます。プロバイダ設定ファイルを再度設定する場合、記述を省略したパラメータは工場出荷値で設定されます。前回の設定から変更の必要のないパラメータもそのまま記述を残して設定するようにしてください。

設定した内容をクリアしたい場合は、内容が空のプロバイダ設定ファイルで更新（上書き）します。

MEMO

ネットワーク設定等、端末本体の設定については、「設定ガイド」を参照してください。

プロバイダ設定ファイルの更新方法は、「ピットタッチプロ3 設定ガイド」の「3.10. コンテンツセット」を参照してください。

●勤怠パッケージの設定

勤怠パッケージは以下の手順で設定します。

1. 下の「●プロバイダ設定ファイルの記述方法」にしたがって、設定ファイルを作成します。
2. プロバイダ設定ファイルを更新します。
3. 本体の電源ボタンを2秒以上押して、機能選択画面を表示させます。
4. 機能選択画面で[終了] ボタンを押します。
5. 変更した設定内容でメイン画面が表示されます。

MEMO

プロバイダ設定ファイルで設定 [データベースインデックス] の値を変更した後、最初にメイン画面が表示される際に、画面が3回ほど再描画されます。

●プロバイダ設定ファイルの記述方法

フォーマットはkey=value形式で、1行1設定です。文字コードはUTF-8(BOM無し)です。keyとvalueのセパレータには、「=」（半角イコール）を使用します。行の先頭に「#」がある場合や空行の場合は無視されます。

記述内容に不正なものがあつた場合は、コンテンツセット起動時にエラー画面が表示されます。

以下は、送信メソッド、再送間隔、代理応答音（ステータス1）をプロバイダ設定ファイルに記述する例です。

```
#送信メソッド：POST, GET
#GETを設定
server.send.meshod=GET
#再送間隔：1～60
#30秒に設定
```

```
server.resend.interval=30
#代理応答音(ステータス1)：0000, 1001~1004, 1008~1019
#1008「おはようございます」に設定
agency.sound.status.1=1008
```

10.2. 設定値一覧

プロバイダ設定ファイルで使用可能な設定値は、以下の通りです。

名前	プロバイダ設定ファイルでのkey	設定可能な値	工場出荷値	内容
基本設定				
FeliCa システムコード	rfid.felica.syscode	0 ~ 65535, 0x0000 ~ 0xffff	0xffff	ポーリングを行うときの FeliCa システムコードを設定します。
非接触 IC 切り替え	rfid.card.mode	0: FeliCa 1: MIFARE 2: FeliCa と MIFARE	0	使用可能な非接触 IC を設定します。
データベースインデックス	database.index	0~9	0	送信データ格納用データベースのインデックス番号を設定します。未送信データがある状態で、サーバへ再送せずに未送信データを削除する場合は、この値を変更してください。
オフラインモード	offline.mode	0: 利用しない 1: 利用する	0	サーバ通信を行わないオフラインモードについて設定します。
管理者パスワード	admin.password	0~9の数字で4~10文字、または、空欄	空欄	管理者パスワードを設定します。空欄の場合はパスワードなしです。
外部連携CGI検出ログ取得機能	extra.cgi	0: 利用しない 1: 利用する	0	ネットワークの外部連携CGIを使って検出ログを取得できる機能を設定します。
サーバ基本設定				
サーバURL	server.url	256文字以内の文字列	空欄	サーバの接続先URLを設定します。
送信メソッド	server.send.method	POST GET	POST	送信メソッドを設定します。
送信フォーマット	server.send.format	512文字以内の文字列	tid=[TID]& type=[TYPE]& cid=[CID]& tim=[TIME]& sts=[STS]& ext=[EXT]& tx=[TX]& cname=[CNAME]	サーバへ送信するパラメータのフォーマットを設定します。
テストサーバURL	user.test.server.url	256文字以内の文字列	空欄	ネットワークテストに利用するサーバURLを設定します。

名前	プロバイダ設定ファイルでのkey	設定可能な値	工場出荷値	内容
サーバ拡張設定				
接続タイムアウト	server.connect.timeout	0~60	10	接続タイムアウトの値(秒)を設定します。
未対応フォーマット応答受信	server.receive.unsupported	0: 失敗表示 1: 代理応答設定に従う	0	サーバから未対応フォーマット応答を受信した場合の動作を設定します。
再送設定				
再送機能	server.resend.mode	0: 再送しない 1: 再送する	1	サーバとの通信においてエラーが発生した場合に実行する再送機能について設定します。
再送間隔	server.resend.interval	1~60	1	再送間隔(秒)を設定します。
再送接続タイムアウト	server.resend.connect.timeout	1~60	15	再送実行時の接続タイムアウトの値(秒)を設定します。
表示設定				
メッセージ表示時間	display.message.show.time	1~30	5	サーバからの応答にメッセージが含まれていた場合の、メッセージの表示時間(秒)を設定します。
時刻表示	clock.mode	0: 12時間表示 1: 24時間表示	0	メイン画面での時刻表示方法を設定します。
ステータス設定				
ステータス切り替え	status.mode	0: ボタンを表示しない 2: [出勤] [退勤] 4: [出勤] [退勤] [外出] [戻り] 6: [出勤] [退勤] [休憩] [戻り] 99: カスタムステータスボタンを使用する	6	メイン画面に表示するステータスボタンの内容を設定します。
ステータス選択	status.select	0: 選択状態 1: 未選択状態	0	メイン画面に表示するステータスボタンが選択状態か未選択状態かを設定します。
カード待ち時間	status.select.timeout	30~120	30	ステータス選択が、未選択状態で設定されたときのカード待ち時間を設定します。この時間を過ぎると、メイン画面に戻ります。
標準ステータスボタン設定				
食事予約	status.extension.mode	0: ボタンを表示しない 1: [注文する] [注文しない] 2: [A] [B] [注文しない] 3: [A] [B] [C] [注文しない] 4: [A] [B] [C] [D] [注文しない]	0	メイン画面で [出勤] ボタン選択時に表示する食事ステータスボタンの内容を設定します。

名前	プロバイダ設定ファイルでのkey	設定可能な値	工場出荷値	内容
ステータス値 (出勤)	status.value.1	1~4	1	[出勤] ボタンを選択中にカードを検出した場合にサーバへ通知する値を設定します。検出ログにも記録されます。
ステータス値 (退勤)	status.value.2	1~4	2	[退勤] ボタン選択中にカードを検出した際にサーバへ通知する値を設定します。検出ログにも記録されます。
ステータス値 (外出/休憩)	status.value.3	1~4	3	[外出] / [休憩] ボタン選択中にカードを検出した際にサーバへ通知する値を設定します。検出ログにも記録されます。
ステータス値 (戻り)	status.value.4	1~4	4	[戻り] ボタン選択中にカードを検出した際にサーバへ通知する値を設定します。検出ログにも記録されます。
代理応答音 (ステータスなし)	agency.sound.status.0	0000, 1001~1004, 1008~1019	0000 (音声なし)	ステータス未使用時 (ボタンを表示していない時) に代理応答を行う際に鳴らす音声を設定します。
代理応答音 (ステータス1)	agency.sound.status.1	0000, 1001~1004, 1008~1019	0000 (音声なし)	ステータス1選択時に代理応答を行う際に鳴らす音声を設定します。
代理応答音 (ステータス2)	agency.sound.status.2	0000, 1001~1004, 1008~1019	0000 (音声なし)	ステータス2選択時に代理応答を行う際に鳴らす音声を設定します。
代理応答音 (ステータス3)	agency.sound.status.3	0000, 1001~1004, 1008~1019	0000 (音声なし)	ステータス3選択時に代理応答を行う際に鳴らす音声を設定します。
代理応答音 (ステータス4)	agency.sound.status.4	0000, 1001~1004, 1008~1019	0000 (音声なし)	ステータス4選択時に代理応答を行う際に鳴らす音声を設定します。
カスタムステータスボタン設定				
ボタンの個数	status.custom.size	2~20	空欄	カスタムステータスボタンの個数を指定します。 ステータス切り替え「status.mode=99」に設定すると、この値が有効になります。 以降の設定の [n] は、個数分の数字が入ります (n:2~20)。 例) 3を設定した場合は、[n]は3までの設定が必須になります。
タイトル	status.custom.title.[n]	全角10文字まで 1行に半角と全角が混在可能	空欄	表示するボタンのタイトルを指定します。 1行が全角5文字 (半角10文字) で2行のレイアウトが可能です。 文字コードは、UTF-8(BOM無し)で記述してください。
ステータス値	status.custom.value.[n]	1~99	空欄	ステータス [n] を選択中にカードを検出した場合にサーバへ通知する値を設定します。 検出ログにも記録されます。

名前	プロバイダ設定ファイルでのkey	設定可能な値	工場出荷値	内容
代理応答音	status.custom.agency.[n]	0000, 1001~1004, 1008~1019	0000 (音声なし)	ステータス [n] 選択時に代理応答を行う際に鳴らす音声を設定します。
ステータス自動変更設定				
ステータス自動変更時間帯1	status.auto.term.1	hh:mm-hh:mm hh : 00~23 mm : 00~59 または空欄	空欄	ステータスの自動変更を行う時間帯を設定します。設定 [自動変更ステータス1] に対応します。 [ステータス自動変更時間帯2] の時間帯と重複しないように設定してください。 自動変更ステータス1を使用しない場合は空欄にします。
ステータス自動変更時間帯2	status.auto.term.2	hh:mm-hh:mm hh : 00~23 mm : 00~59 または空欄	空欄	ステータスの自動変更を行う時間帯を設定します。設定 [自動変更ステータス2] に対応します。 [ステータス自動変更時間帯1] の時間帯と重複しないように設定してください。 自動変更ステータス2を使用しない場合は空欄にします。
自動変更ステータス1	status.auto.no.1	1 : [出勤] 2 : [退勤] 3 : [外出] / [休憩] 4 : [戻り]	1	設定 [ステータス自動変更時間帯1] に従って変更するステータスを設定します。 設定 [ステータス切り替え] に応じて有効なステータスを設定してください。 カスタムステータスポタンを設定した場合は、[n] を設定してください。
自動変更ステータス2	status.auto.no.2	1 : [出勤] 2 : [退勤] 3 : [外出] / [休憩] 4 : [戻り]	2	設定 [ステータス自動変更時間帯2] に従って変更するステータスを設定します。 設定 [ステータス切り替え] に応じて有効なステータスを設定してください。 カスタムステータスポタンを設定した場合は、[n] を設定してください。
カード登録				
カード登録モード	entry.mode	0 : ローカル 1 : リモート登録 2 : リモート登録/削除	0	カード登録のモードを設定します。
ローカルカード登録				
登録上限時の自動削除	entry.auto.delete	0 : 自動削除せずに、エラーとする 1 : 更新日時の古いものから削除する	0	カード登録時、登録件数が上限に達したときに古いものから順に自動的に削除するかどうかを設定します。
リモートカード登録/削除				

名前	プロバイダ設定ファイルでのkey	設定可能な値	工場出荷値	内容
ユーザ照会URL	entry.info.server.url	256文字以内の文字列	空欄	ユーザ照会サーバの接続先URLを設定します。
ユーザ照会送信フォーマット	entry.info.server.format	512文字以内の文字列	tid=[TID]& tim=[TIME]& id=[LOGINID]& pass=[PASSWORD]	ユーザ照会サーバへ送信するパラメータのフォーマットを設定します。
登録パスワード設定	entry.regist.password	0：パスワードなし 1：パスワードあり	0	登録時に、パスワードを入力するかどうかを設定します。
登録URL	entry.regist.server.url	256文字以内の文字列	空欄	リモートカード登録サーバの接続先URLを設定します。
登録送信フォーマット	entry.regist.server.format	512文字以内の文字列	tid=[TID]& tim=[TIME]& id=[LOGINID]& cid=[CID]& type=[TYPE]& pass=[PASSWORD]	リモートカード登録サーバへ送信するパラメータのフォーマットを設定します。
削除パスワード設定	entry.unregist.password	0：パスワードなし 1：パスワードあり	0	削除時に、パスワードを入力するかどうかを設定します。
削除URL	entry.unregist.server.url	256文字以内の文字列	空欄	リモートカード削除サーバの接続先URLを設定します。
削除送信フォーマット	entry.unregist.server.format	512文字以内の文字列	tid=[TID]& tim=[TIME]& id=[LOGINID]& cdx=[CDX]& pass=[PASSWORD]	リモートカード削除サーバへ送信するパラメータのフォーマットを設定します。
サーバ接続タイムアウト	entry.connect.timeout	10～60	10	リモートカードサーバの接続タイムアウトの値（秒）を設定します。
ID入力短縮メニューの個数	entry.info.id.menu.size	0～5	0	リモートカードのユーザ照会時に入力するIDの短縮メニューの個数を設定します。 以降の設定の [n] は、個数分の数字が入ります（n:1～5）。 0の場合は、ID入力短縮メニューを表示しません。
ID入力短縮メニュー	entry.info.id.menu.[n]	32文字以内の文字列	空欄	リモートカードのユーザ照会時に入力するIDの短縮メニューの文字列を設定します。
FeliCa読み取り設定				
読み取り設定	rfid.felica.read	0：無効 1：設定1有効 2：設定1, 設定2有効	0	読み取り機能の設定を指定します。 以降、設定1は、 [n] =1、設定2は、 [n] =2となります。
対象外カード時の挙動	rfid.felica.notifytype	0：FeliCaIDを通知しない 1：FeliCaIDを通知する	1	カードが該当しなかった時の挙動を指定します。

名前	プロバイダ設定ファイルでのkey	設定可能な値	工場出荷値	内容
システムコード	rfid.felica.syscode.[n]	0~65535, 0x0000~0xffff	0xffff	読み取り対象のFeliCaシステムコードを指定します。
サービスコード	rfid.felica.servicecode.[n]	0~65535, 0x0000~0xffff	空欄	読み取り対象のサービスコードを指定します。
読み取りブロック開始位置	rfid.felica.block.pos.[n]	0~255, 0x00~0xff	0	読み取る領域の開始位置をブロックで指定します。
読み取りブロック数	rfid.felica.block.size.[n]	1~3 0x01~0x03	1	読み取る領域の読み取りブロック数を指定します。
データ切り出し開始位置	rfid.felica.data.pos.[n]	0~47, 0x00~0x2f	0	読み取ったデータを切り出す開始位置をバイト単位で指定します。
データ長さ	rfid.felica.data.size.[n]	0~47, 0x00~0x2f	0	読み取ったデータを切り出す長さをバイト単位で指定します。 0を指定すると最後まで切り出します。
データ変換	rfid.felica.data.type.[n]	0: バイナリ 1: ASCII変換後、URLエンコード	0	読み出したデータの変換を指定します。
MIFARE読み取り設定				
読み取り設定	rfid.mifare.read	0: 無効 1: 設定1有効 2: 設定1, 設定2有効	0	読み取り機能の設定を指定します。 以降、設定1は、 [n] =1、設定2は、 [n] =2となります。
対象外カード時の挙動	rfid.mifare.notifytype	0: UIDを通知しない 1: UIDを通知する	1	カードが該当しなかった時の挙動を指定します。
読み取り対象カード	rfid.mifare.target.[n]	1: Classic 1K 2: Classic 4K 3: Ultralight	1	読み取り対象カードを指定します。
読み取りアドレス番号	rfid.mifare.block.pos.[n]	0~255, 0x00~0xff	0	読み出す領域のアドレス/ページ番号を指定します。
読み取りアドレス数	rfid.mifare.block.size.[n]	1~2 0x01~0x02	1	読み取る領域の読み取りアドレス/ページ数を指定します。 Classic 1K/Classic 4Kの場合、同一鍵を使用している同一セクタ内の連続しているアドレスに限ります。 Ultralightは、1アドレス=4ページとなり1アドレス単位で指定します。
鍵指定	rfid.mifare.key.type.[n]	1: 鍵A 2: 鍵B	1	読み取る領域の鍵A/鍵Bを指定します。 読み取り対象カードにUltralightが指定されている場合は無視します。
鍵	rfid.mifare.key.value.[n]	6バイト12文字固定	000000000000	読み取る領域の鍵を指定します。 読み取り対象カードにUltralightが指定されている場合は無視します。
データ切り出し開始位置	rfid.mifare.data.pos.[n]	0~31, 0x00~0x1f	0	読み取ったデータを切り出す開始位置をバイト単位で指定します。

名前	プロバイダ設定ファイルでのkey	設定可能な値	工場出荷値	内容
データ長さ	rfid.mifare.data.size.[n]	0~31, 0x00~0x1f	0	読み取ったデータを切り出す長さをバイト単位で指定します。 0を指定すると最後まで切り出します。
データ変換	rfid.mifare.data.type.[n]	0: バイナリ 1: ASCII変換後、URLエンコード	0	読み出したデータの変換を指定します。

10.3. 設定値エラー

プロバイダ設定ファイルで書き込まれた設定値は、起動時と機能選択画面の終了時にチェックされます。プロバイダ設定ファイルの先頭から1行ずつ読み出され、不正な内容が含まれている場合はエラー画面が表示されます。

エラー画面にはエラーの内容が以下のフォーマットで表示されます。

[エラーコード](line:[エラーの発生した行番号])

エラー内容は以下のとおりです。

エラーコード	エラー内容	主な原因など
P000	内部エラー	勤怠パッケージの内部処理で問題が発生した場合に表示されます。 本製品を再起動しても発生し続ける場合は販売元へご連絡ください。
P001	keyエラー	セパレータの前が空欄、未定義のkeyを検出した場合に表示されます。
P002	セパレータエラー	セパレータが見つからない場合に表示されます。
P003	key重複エラー	有効な値が設定されているkeyが再度検出された場合に表示されます。
P100	「FeliCaシステムコード」内容エラー	設定 [FeliCaシステムコード] の内容が0～65535、0x0000～0xffffの数値以外の場合に表示されます。
P101	「データベースインデックス」内容エラー	設定 [データベースインデックス] の内容が0～9の数値以外の場合に表示されます。
P102	「サーバURL」内容エラー	設定 [サーバURL] の内容がASCII印字可能文字(0x20～0x7e)以外を含んでいる場合に表示されます。
P105	「送信メソッド」内容エラー	設定 [送信メソッド] の内容が「GET」、「POST」以外の場合に表示されます。
P106	「フォーマット」内容エラー	設定 [フォーマット] の内容がASCII印字可能文字(0x20～0x7e)以外を含んでいる、または文字数が512文字を超える場合に表示されます。
P107	「再送機能」内容エラー	設定 [再送機能] の内容が0、1の数値以外の場合に表示されます。
P108	「再送間隔」内容エラー	設定 [再送間隔] の内容が1～60の数値以外の場合に表示されます。
P109	「再送接続タイムアウト」内容エラー	設定 [再送接続タイムアウト] の内容が1～60の数値以外の場合に表示されます。
P110	「接続タイムアウト」内容エラー	設定 [接続タイムアウト] の内容が0～60の数値以外の場合に表示されます。
P111	「未対応フォーマット応答受信」内容エラー	設定 [未対応フォーマット応答受信] の内容が0、1の数値以外の場合に表示されます。
P112	「代理応答音：ステータスなし」内容エラー	設定 [代理応答音声：ステータスなし] の内容が0000、1001～1004、1008～1019の数値以外の場合に表示されます。
P113	「代理応答音：ステータス1」内容エラー	設定 [代理応答音：ステータス1] の内容が0000、1001～1004、1008～1019の数値以外の場合に表示されます。
P114	「代理応答音：ステータス2」内容エラー	設定 [代理応答音：ステータス2] の内容が0000、1001～1004、1008～1019の数値以外の場合に表示されます。

エラーコード	エラー内容	主な原因など
P115	「代理応答音：ステータス3」 内容エラー	設定 [代理応答音：ステータス3] の内容が0000、1001～1004、1008～1019の数値以外の場合に表示されます。
P116	「代理応答音：ステータス4」 内容エラー	設定 [代理応答音：ステータス4] の内容が0000、1001～1004、1008～1019の数値以外の場合に表示されます。
P117	「ステータス切り替え」内容エラー	設定 [ステータス切り替え] の内容が0、2、4、6、99の数値以外の場合に表示されま す。
P118	「食事予約」内容エラー	設定 [食事予約] の内容が0～4の数値以外の場合に表示されます。
P119	「メッセージ表示時間」内容エラー	設定 [メッセージ表示時間] の内容が1～30の数値以外の場合に表示されます。
P120	「非接触IC切り替え」内容エラー	設定 [非接触IC切り替え] の内容が0、1、2の数値以外の場合に表示されます。
P121	「ステータス値：出勤」内容エラー	設定 [ステータス値 (出勤)] の内容が1～4の数値以外の場合に表示されます。
P122	「ステータス値：退勤」内容エラー	設定 [ステータス値 (退勤)] の内容が1～4の数値以外の場合に表示されます。
P123	「ステータス値：外出／休憩」 内容エラー	設定 [ステータス値 (外出／休憩)] の内容が1～4の数値以外の場合に表示されます。
P124	「ステータス値：戻り」内容エラー	設定 [ステータス値 (戻り)] の内容が1～4の数値以外の場合に表示されます。
P125	「時刻表示」内容エラー	設定 [時刻表示] の内容が0、1の数値以外の場合に表示されます。
P126	「ステータス自動変更時間帯1」 内容エラー	設定 [ステータス自動変更時間帯1] の内容が空白、またはhh:mm-hh:mmの形式以外 の場合に表示されます。 hh：00～23 mm：00～59
P127	「ステータス自動変更時間帯2」 内容エラー	設定 [ステータス自動変更時間帯2] の内容が空白、またはhh:mm-hh:mmの形式以外 の場合に表示されます。 hh：00～23 mm：00～59
P128	「自動変更ステータス1」 内容エラー	設定 [自動変更ステータス1] の内容が1～4の数値以外の場合に表示されます。
P129	「自動変更ステータス2」 内容エラー	設定 [自動変更ステータス2] の内容が1～4の数値以外の場合に表示されます。
P130	「オフラインモード」内容エラー	設定 [オフラインモード] の内容が0、1の数値以外の場合に表示されます。
P131	「ステータス選択」内容エラー	設定 [ステータス選択] の内容が0、1の数値以外の場合に表示されます。
P132	「カード待ち時間」内容エラー	設定 [カード待ち時間] の内容が30～120の数値以外の場合に表示されます。
P133	「管理者パスワード」内容エラー	設定 [管理者パスワード] の内容が0～9の数値以外、または、文字数が4文字未満か10 文字を超える場合に表示されます。
P134	「カード登録上限時の自動削除」 内容エラー	設定 [カード登録上限時の自動削除] の内容が0、1の数値以外の場合に表示されます。
P152	「ネットワークでの検出ログ取得」 内容エラー	設定 [ネットワークでの検出ログ取得] の内容が0、1の数値以外の場合に表示されま す。

エラーコード	エラー内容	主な原因など
P199	「テストサーバURL」内容エラー	設定 [テストサーバURL] の内容がASCII印字可能文字(0x20~0x7e)以外を含んでいる場合に表示されます。
P200	「自動変更ステータス1」 設定不整合エラー	設定 [ステータス切り替え] が2に設定されている状態で、設定 [自動変更ステータス1] が3または4の場合、または設定 [ステータス切り替え] が99に設定されている状態で、設定 [自動変更ステータス1] の値が、カスタムステータスボタン設定 [ボタンの個数] の値以上の場合に表示されます。
P201	「自動変更ステータス2」 設定不整合エラー	設定 [ステータス切り替え] が2に設定されている状態で、設定 [自動変更ステータス2] が3または4の場合、または設定 [ステータス切り替え] が99に設定されている状態で、設定 [自動変更ステータス2] の値が、カスタムステータスボタン設定 [ボタンの個数] の値以上の場合に表示されます。
P202	「ステータス自動変更時間帯」 重複エラー	設定 [ステータス自動変更時間帯1] と設定 [ステータス自動変更時間帯2] の時間帯が重複している場合に表示されます。
P203	「ステータス切り替え」「ステータス選択」設定不整合エラー	設定 [ステータス切り替え] の内容が0、設定 [ステータス選択] の内容が1の場合に表示されます。
P204	「食事予約」「ステータス選択」 設定不整合エラー	設定 [食事予約] の内容が0以外、設定 [ステータス選択] の内容が1の場合に表示されます。
P205	「ステータス自動変更時間帯」「ステータス選択」設定不整合エラー	設定 [ステータス自動変更時間帯1]、または、設定 [ステータス自動変更時間帯2] のいずれかを設定し、かつ、設定 [ステータス選択] の内容が1の場合に表示されます。
P206	カスタムステータスボタン設定 「ステータス値」重複エラー	設定 [ステータス切り替え] が99に設定されている状態で、設定 [ステータス値] で各ボタン間で重複した値があったときに表示されます。
P300	カスタムステータスボタン設定 「ボタンの個数」内容エラー	設定 [ボタンの個数] の内容が1~20の数値以外の場合に表示されます。
P301~ P320	カスタムステータスボタン設定 「タイトル」内容エラー	設定 [タイトル] がない、文字数がオーバーしている、改行位置や個数が不正の場合に表示されます。 P301は、1番目のボタンを示し以降順に、P320で20番目のボタンを示します。
P321~ P340	カスタムステータスボタン設定 「ステータス値」内容エラー	設定 [ステータス値] の内容が1~99の数値以外の場合に表示されます。 P321は、1番目のボタンを示し以降順に、P340で20番目のボタンを示します。
P341~ P360	カスタムステータスボタン設定 「代理応答音」内容エラー	設定 [代理応答音] の内容が0000、1001~1004、1008~1019の数値以外の場合に表示されます。 P341は、1番目のボタンを示し以降順に、P360で20番目のボタンを示します。
P361	FeliCa読み取り設定「読み取り設定」内容エラー	設定 [読み取り設定] の内容が0~2の数値以外の場合に表示されます。
P362	FeliCa読み取り設定「対象外カード時の挙動」内容エラー	設定 [対象外カード時の挙動] の内容が0~1の数値以外の場合に表示されます。
P363/ P370	FeliCa読み取り設定「システムコード」内容エラー	設定 [システムコード] の内容が0 ~ 65535、0x0000 ~ 0xffffの数値以外の場合に表示されます。 P363は、設定1を示し、P370は、設定2を示します。
P364/ P371	FeliCa読み取り設定「サービスコード」内容エラー	設定 [サービスコード] の内容が0 ~ 65535、0x0000 ~ 0xffffの数値以外の場合に表示されます。 P364は、設定1を示し、P371は、設定2を示します。
P365/ P372	FeliCa読み取り設定「読み取りブロック開始位置」内容エラー	設定 [読み取りブロック開始位置] の内容が0 ~ 255、0x00 ~ 0xffの数値以外の場合に表示されます。 P365は、設定1を示し、P372は、設定2を示します。

エラーコード	エラー内容	主な原因など
P366/ P373	FeliCa読み取り設定「読み取りブロック数」内容エラー	設定 [読み取りブロック数] の内容が0～3、0x00～0x03の数値以外の場合に表示されます。 P366は、設定1を示し、P373は、設定2を示します。
P367/ P374	FeliCa読み取り設定「データ切り出し開始位置」内容エラー	設定 [データ切り出し開始位置] の内容が0～47、0x00～0x2fの数値以外の場合に表示されます。 P367は、設定1を示し、P374は、設定2を示します。
P368/ P375	FeliCa読み取り設定「データ長さ」内容エラー	設定 [データ長さ] の内容が0～47、0x00～0x2fの数値以外の場合に表示されます。 P368は、設定1を示し、P375は、設定2を示します。
P369/ P376	FeliCa読み取り設定「データ変換」内容エラー	設定 [データ変換] の内容が0～1の数値以外の場合に表示されます。 P369は、設定1を示し、P376は、設定2を示します。
P377	Mifare読み取り設定「読み取り設定」内容エラー	設定 [読み取り設定] の内容が0～2の数値以外の場合に表示されます。
P378/ P386	Mifare読み取り設定「読み取り対象カード」内容エラー	設定 [読み取り対象カード] の内容が1～3の数値以外の場合に表示されます。 P378は、設定1を示し、P386は、設定2を示します。
P379/ P387	Mifare読み取り設定「読み取りアドレス番号」内容エラー	設定 [読み取りアドレス番号] の内容が0～255、0x00～0xffの数値以外の場合に表示されます。 P379は、設定1を示し、P387は、設定2を示します。
P380/ P388	Mifare読み取り設定「読み取りアドレス数」内容エラー	設定 [読み取りアドレス数] の内容が0～2、0x00～0x02の数値以外の場合に表示されます。 P380は、設定1を示し、P388は、設定2を示します。
P381/ P389	Mifare読み取り設定「鍵指定」内容エラー	設定 [鍵指定] の内容が1～2の数値以外の場合に表示されます。 P381は、設定1を示し、P389は、設定2を示します。
P382/ P390	Mifare読み取り設定「鍵」内容エラー	設定 [鍵] の内容が0x000000000000～0x0FFFFFFFFFFFFFFFの数値以外の場合に表示されます。 P382は、設定1を示し、P390は、設定2を示します。
P383/ P391	Mifare読み取り設定「データ切り出し開始位置」内容エラー	設定 [データ切り出し開始位置] の内容が0～31、0x00～0x1fの数値以外の場合に表示されます。 P383は、設定1を示し、P391は、設定2を示します。
P384/ P392	Mifare読み取り設定「データ長さ」内容エラー	設定 [データ長さ] の内容が0～31、0x00～0x1fの数値以外の場合に表示されます。 P384は、設定1を示し、P392は、設定2を示します。
P385/ P393	Mifare読み取り設定「データ変換」内容エラー	設定 [データ変換] の内容が0～1の数値以外の場合に表示されます。 P385は、設定1を示し、P393は、設定2を示します。
P400	「カード登録モード」内容エラー	設定 [カード登録モード] の内容が0～2の数値以外の場合に表示されます。
P401	「ユーザ照会URL」内容エラー	設定 [ユーザ照会URL] の内容がASCII印字可能文字(0x20～0x7e)以外を含んでいる場合に表示されます。
P402	「ユーザ照会送信フォーマット」内容エラー	設定 [ユーザ照会送信フォーマット] の内容がASCII印字可能文字(0x20～0x7e)以外を含んでいる、または文字数が512文字を超える場合に表示されます。
P403	「カード登録パスワード」内容エラー	設定 [カード登録パスワード] の内容が0～1の数値以外の場合に表示されます。
P404	「カード登録URL」内容エラー	設定 [カード登録URL] の内容がASCII印字可能文字(0x20～0x7e)以外を含んでいる場合に表示されます。

エラーコード	エラー内容	主な原因など
P405	「カード登録送信フォーマット」内容エラー	設定 [カード登録送信フォーマット] の内容がASCII印字可能文字(0x20~0x7e)以外を含んでいる、または文字数が512文字を超える場合に表示されます。
P406	「カード削除パスワード」内容エラー	設定 [カード削除パスワード] の内容が0~1の数値以外の場合に表示されます。
P407	「カード削除URL」内容エラー	設定 [カード削除URL] の内容がASCII印字可能文字(0x20~0x7e)以外を含んでいる場合に表示されます。
P408	「カード削除送信フォーマット」内容エラー	設定 [カード削除送信フォーマット] の内容がASCII印字可能文字(0x20~0x7e)以外を含んでいる、または文字数が512文字を超える場合に表示されます。
P409	「カードサーバ接続タイムアウト」内容エラー	設定 [カードサーバ接続タイムアウト] の内容が10~60の数値以外の場合に表示されません。
P410	「ID入力短縮メニューの個数」内容エラー	設定 [ID入力短縮メニューの個数] の内容が0~5の数値以外の場合に表示されます。
P411~ P415	「ID入力短縮メニュー」内容エラー	設定 [ID入力短縮メニューの個数] の内容がASCII印字可能文字(0x20~0x7e)以外を含んでいる、または文字数が32文字を超える場合に表示されます。 P411は、1番目を示し以降順に、P415で5番目を示します。
P420	「カード登録モード」「ユーザ照会URL」設定不整合エラー	設定 [カード登録モード] の内容が1か2の場合で、設定 [ユーザ照会URL] の設定がない場合に表示されます。
P421	「カード登録モード」「ユーザ照会送信フォーマット」設定不整合エラー	設定 [カード登録モード] の内容が1か2の場合で、設定 [ユーザ照会送信フォーマット] の設定がない場合に表示されます。
P422	「カード登録モード」「カード登録URL」設定不整合エラー	設定 [カード登録モード] の内容が1か2の場合で、設定 [カード登録URL] の設定がない場合に表示されます。
P423	「カード登録モード」「カード登録送信フォーマット」設定不整合エラー	設定 [カード登録モード] の内容が1か2の場合で、設定 [カード登録送信フォーマット] の設定がない場合に表示されます。
P424	「カード登録モード」「カード削除URL」設定不整合エラー	設定 [カード登録モード] の内容が2の場合で、設定 [カード削除URL] の設定がない場合に表示されます。
P425	「カード登録モード」「カード削除送信フォーマット」設定不整合エラー	設定 [カード登録モード] の内容が2の場合で、設定 [カード削除送信フォーマット] の設定がない場合に表示されます。
P426	「ID入力短縮メニューの個数」「ID入力短縮メニュー」設定不整合エラー	設定 [カード登録モード] の内容が1か2の場合で、設定 [ID入力短縮メニューの個数] と設定 [ID入力短縮メニュー] の数が一致しない場合に表示されます。

10.4. 音声番号

代理応答設定で代理応答音として設定できる音声番号の一覧は、以下のとおりです。

音声番号	主な用途／音声内容
0000	音声なし
1001	成功音1
1002	成功音2
1003	失敗音1
1004	失敗音2
1008	「おはようございます」
1009	「お帰りなさい」
1010	「おつかれさまでした」
1011	「いってらっしゃい」
1012	「さようなら」
1013	「登録がありません」
1014	「出勤です」
1015	「退勤です」
1016	「外出です」
1017	「戻りです」
1018	「エラーです」
1019	「おつかれさまです」

11. 検出ログ

本製品では非接触ICを1回検出するごとに内部に検出ログを記録します。検出ログはUSBメモリに保存し、パソコンなどから参照することができます。 →「[6. 検出ログ取得](#)」

検出ログは最大で10000件まで保存できます。



最大件数の検出ログを保存している状態で新たに非接触ICを検出した場合は、送信ステータスが「送信完了」のログのうち、検出時刻が最も古いログを1件削除して新しいログを保存します。「送信完了」のログが1件もない場合は、未送信データフル画面が表示され、新たな検出ログは保存されません。

●検出ログファイル

検出ログは、管理画面からUSBメモリに検出ログファイルとして保存することができます。

検出ログの各情報を「,」（半角カンマ）で区切り、CSVファイルとして保存します。

表示例

「出勤」ボタン、食事予約ボタンの「C」ボタンを選択した状態で登録名「pittouch」のFeliCaをかざし、サーバ通信が完了した場合

※設定「ステータス値（出勤）」が「1」に設定されている場合の例です。

```
2021/09/18 14:38:26,FeliCa,0123456789ABCDEF,pittouch,01,03,0,0,1,2021/09/18 14:38:27,200,00,,
```

表示される項目とその内容は以下のとおりです。

項目	表示内容	説明
カード検出時刻	YYYY/MM/DD hh:mm:ss	非接触ICカードを検出した時刻です。
カード種別	FeliCa/Mifare1K/Mifare4K /MifareUL	検出した非接触ICカードの種別です。
カードID	FeliCa：16桁の16進数値 MIFARE：8～20桁の16進数値	FeliCaカードまたはMIFAREカードのIDです。
カード登録名	1～32文字または空欄	ローカルカード登録した、カードIDに対応する登録名です。未登録の場合は空欄になります。
ステータス	01～04の数値または空欄 カスタムステータスボタン使用時は、01～99の数値。	カード検出時に選択されていたステータスに対応する値です。値は設定値「ステータス値(出勤)」などで変更できます。設定値「ステータス切り替え」が「0」（ボタンを表示しない）の場合は空欄になります。
食事ステータス	00～04の数値または空欄	カード検出時に選択されていた食事ステータスです。「注文しない」を選択した場合は00になります。食事予約を使用しない場合、またはカード検出時のステータスが出勤以外の場合は空欄になります。
結果	0または1	打刻結果です。再送の有無にかかわらず、サーバへの送信が成功した場合に0になります。オフラインモード、または未対応フォーマット応答受信時に代理応答を行う設定の場合も0になります。
送信ステータス	0または1	再送も含め、サーバとの通信が完了していない場合は1になります。サーバとの通信が完了した場合、またはオフラインモードの場合は0になります。

項目	表示内容	説明
サーバ通信結果	0~2または10~15の数値	<p>0：オフラインモードのため、サーバ通信を行いませんでした。</p> <p>1：サーバとの通信が成功しました。</p> <p>2：サーバから未対応フォーマットを受信しましたが、設定に従い代理応答を実行しました。</p> <p>10：サーバから失敗応答を受信しました。</p> <p>11：サーバとの通信がタイムアウトしました。</p> <p>12：サーバからHTTP/HTTPS StatusCodeが200以外の応答を受信しました。</p> <p>13：サーバから未対応フォーマットを受信しました。</p> <p>14：ネットワーク未接続のため、サーバ通信を行いませんでした。</p> <p>15：その他通信エラーが発生しました。</p>
通信終了時刻	YYYY/MM/DD hh:mm:ss	最後に行ったサーバ通信が終了した時刻です。再送が発生するたびに更新されます。ネットワーク未接続時やオフラインモードの場合はカード検出時の時刻になります。
HTTPステータスコード	000~999の数値または空欄	最後に行ったHTTP/HTTPS通信でサーバから受信したStatusCodeです。通信失敗時や通信未発生時など、StatusCodeが受信できなかった場合は空欄になります。
リザルトコード	00~FFの16進数値または空欄	サーバから受信したリザルトコードです。通信失敗時や通信未発生時など、リザルトコードが受信できなかった場合は空欄になります。
読み取りインデックス	0~2または空欄	<p>カードをかざしたときに読み取りに利用した設定の番号です。設定がない場合は、空欄になります。</p> <p>0：読み取り対象外</p> <p>1：設定1</p> <p>2：設定2</p>
読み取りデータ	可変長	カードをかざしたときに読み取った加工後のデータです。設定がない場合は、空欄になります。

12. 勤怠パッケージで記録するコンソールログ

本製品では、サーバ通信、各種操作、エラーなどのイベントが発生した場合に、コンソールログへ記録します。コンソールログはWeb設定ページの [コンテンツセット] > [コンソールログ] で確認できます。

MEMO

各コンソールログの末尾に記録される「http://localhost/s.js:8」は、コンテンツセット内のファイルと行番号を示しています。ピットタッチ・プロ3のコンソールログの仕様により、自動的に付加されます。

■送信ログ

サーバへの初回の通信時と再送時にそれぞれ送信ログが記録されます。オフラインモード利用時も、カード検出のタイミングで同様に記録されます。

送信ログは「,」（半角カンマ）区切りで表示されます。



設定値 [再送機能] を「再送する」に設定していて、FeliCaをかざした後のサーバへの通信に失敗した場合、送信ログは初回通信時と再送完了時の2回出力されます。

MEMO

送信ログは初回通信、再送ともに通信が完了したタイミングで記録されます。

表示例

[出勤] ボタン、食事予約ボタンの [C] ボタンを選択した状態で登録名「pittouch」のFeliCaをかざし、サーバ通信が完了した場合

※設定値 [ステータス値 (出勤)] が「1」に設定されている場合の例です。

送信完了,2021/03/01 09:00:00,FeliCa,0123456789ABCDEF,01,03,200,00,pittouch,,, http://localhost/s.js:8

表示される項目とその内容は以下のとおりです。

項目	表示内容	説明
通信結果	送信完了	サーバへの送信が完了しました。
	送信失敗	サーバへの送信に失敗しました。（再送失敗時には表示されません。）
	再送完了	サーバへの再送が完了しました。
通信日時	YYYY/MM/DD hh:mm:ss	通信が完了した日時です。
カード種別	FeliCa/Mifare1K/Mifare4K /MifareUL	検出した非接触ICカードの種別です。
カードID	FeliCa：16桁の16進数値 MIFARE：8～20桁の16進数値 (英字は大文字)	FeliCaカードまたはMIFAREカードのIDです。

項目	表示内容	説明
ステータス	01～04の数値または空欄 カスタムステータスボタン使用時は、01～99の数値。	カード検出時に選択されていたステータスに対応する値です。値は設定値 [ステータス(出勤)] などで変更できます。設定値 [ステータス切り替え] が [0] (ボタンを表示しない) の場合は空欄になります。
食事ステータス	00～04の数値または空欄	カード検出時に選択されていた食事ステータスです。「注文しない」を選択した場合は00になります。食事予約を使用しない場合、またはカード検出時のステータスが出勤以外の場合は空欄になります。
HTTPステータスコード	000～999の数値または空欄	HTTP/HTTPS通信でサーバから受信したStatusCodeです。通信失敗時や通信未発生時など、StatusCodeが受信できなかった場合は空欄になります。
リザルトコード	00～FFの16進数値または空欄	サーバから受信したリザルトコードです。通信失敗時や通信未発生時など、リザルトコードが受信できなかった場合は空欄になります。
カード登録名	1～32文字または空欄	ローカルカード登録した、カードIDに対応する登録名です。未登録の場合は空欄になります。
読み取り インデックス	0～2または空欄	カードをかざしたときに読み取りに利用した設定の番号です。設定がない場合は、空欄になります。 0：読み取り対象外 1：設定1 2：設定2
読み取りデータ	可変長	カードをかざしたときに読み取った加工後のデータです。設定がない場合は、空欄になります。

■リモートカード登録／削除

サーバ通信時にログが記録されます。リモートカード登録／削除には、再送機能はありません。送信ログは「,」（半角カンマ）区切りで表示されます。

表示される項目とその内容は以下のとおりです。

項目	表示内容	説明
通信結果	成功	サーバへの送信が成功しました。
	失敗	サーバへの送信に失敗しました。
通信日時	YYYY/MM/DD hh:mm:ss	通信を実行した日時です。
処理種別	照会／カード登録／カード削除	通信した種別です。
カードID	FeliCa：16桁の16進数値 MIFARE：8～20桁の16進数値 (英字は大文字) カード番号：半角英数1～64文字	処理種別「照会」：空欄になります。 処理種別「登録」：FeliCaカード、MIFAREカードのIDです。 処理種別「削除」：サーバで登録されているカードの番号です。
ID	1～64文字までの文字列	リモートカード登録／削除時に入力したIDです。
HTTPステータスコード	000～999の数値または空欄	HTTP/HTTPS通信でサーバから受信したStatusCodeです。通信失敗時や通信未発生時など、StatusCodeが受信できなかった場合は空欄になります。
リザルトコード	00～FFの16進数値または空欄	サーバから受信したリザルトコードです。通信失敗時や通信未発生時など、リザルトコードが受信できなかった場合は空欄になります。

項目	表示内容	説明
カード数	0~3までの数値または空欄	処理種別「照会」でサーバから通知されたカード数になります。 照会以外の場合は、空欄になります。

表示例

ID : sample@sstinc.co.jpでユーザ照会を行い、登録されているカードが2枚あった場合

成功,2019/01/26 14:12:54,照会,,sample@sstinc.co.jp,200,00,2, http://localhost/s.js:8

表示例

ID : sample@sstinc.co.jpにFeliCaカードを登録した場合

成功,2019/01/26 14:14:05,カード登録,0123456789ABCDEF,sample@sstinc.co.jp,200,00,,
http://localhost/s.js:8

表示例

ID : sample@sstinc.co.jpのカード番号203のカードを削除した場合

成功,2019/02/15 10:10:08,カード削除,203,sample@sstinc.co.jp,200,00,, http://localhost/s.js:8

■設定エラーログ

設定値エラーが発生した際、発生日時およびエラーコードと共に設定エラーログを記録します。

表示例

「サーバURL」内容エラーが発生した場合

2021/09/26 15:22:24,設定値エラー,P102 (line:3), http://localhost/s.js:8

■その他のログ

その他の操作やイベントが発生した際も、発生日時と共にログを記録します。

表示例

送信データ削除確認画面で「削除する」ボタンを押した場合

2021/09/25 15:46:38,検出ログ削除,オフラインモード, http://localhost/s.js:8

13. 用語集

FeliCa

ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。

次のような特徴を持っています。

- ・ 強固な通信セキュリティ
- ・ 1枚のカードに複数のアプリケーションを搭載可能
- ・ 高速なデータ処理

本製品ではFeliCa Standard（FeliCaID、カード情報の読み取り）及びFeliCa Lite/Lite-S（FeliCaID）に対応しております。

HTTPステータスコード

Webサーバから返信される3桁の数字で通信結果を表します。正常に通信が成功した場合には「200」になります。

MIFARE

NXPセミコンダクターズ社の登録商標で、近接型非接触ICカードの国際規格ISO14443 Type Aに準拠したカードです。MIFAREの中でもいくつかの種類がありますが、本製品ではMIFARE Classic 1K/4K、MIFARE Ultralightのカードに対応しています。

NTPサーバ（Network Time Protocolサーバ）

ネットワーク経由でコンピュータの内部時計を調整するプロトコルを使用して、正しい時刻を取得するサーバです。本製品は、このサーバを参照することで時刻を合わせています。

ファームウェア

ROMやフラッシュメモリ上に搭載され、ハードウェアの基本的な制御を行うために機器に組み込まれたソフトウェアです。

本製品の実行環境もファームウェアにより提供されています。機能追加などは、ファームウェアの更新により実施されることがあります。

14. FAQ

■本体

●エラー画面が表示される

- 設定値エラーが表示された場合は、プロバイダ設定ファイルの設定内容を確認してください。設定値エラーの内容については、「[10.3.設定値エラー](#)」を参照してください。
- 設定値エラー以外のエラーが表示された場合は、本製品を再起動してください。再起動後もエラー画面が表示されるときは、販売元へご連絡ください。

●プロバイダ設定ファイル「サーバ基本設定」のサーバURLなどの設定内容がわからない

- 販売元にお問い合わせください。

●時刻表示が進まず止まったままとなる

- 本製品の現在時刻よりも過去の時刻に設定すると、元の時刻を過ぎるまでの間、時刻表示が進まず止まったままとなります。
- 電源ボタンを2秒以上押しして機能選択画面を表示し、機能選択画面にある「終了」ボタンを押してください。

●食事予約ボタンが表示されない

- 「出勤」ボタンを押してください。食事予約ボタンは「出勤」ボタン選択時のみ表示されます。
- プロバイダ設定ファイルで設定した内容が正しいか確認してください。

●未送信データフル画面が表示される

- ネットワークに正しく接続されているか確認してください。
- Webサーバへの通信が行えるか確認してください。

●不要な未送信データ件数の表示を削除したい

- プロバイダ設定ファイルに以下を追加して、勤怠パッケージの設定を行います。
data.base.index= [現在の設定値以外の番号 (0~9のいずれか)]

●サーバ通信後に再生される音声や表示されるメッセージが正しくない

- ネットワークに正しく接続されているか確認してください。
- サーバが返している応答データの内容が正しいか確認してください。応答データの内容がわからない場合は、販売元にお問い合わせください。

●再送する／しないを変更したい

- プロバイダ設定ファイルに以下を追加して、勤怠パッケージの設定を行います。
server.resend.mode= [0 (再送しない) または1 (再送する)]

●ステータスボタンの数を変更したい

- プロバイダ設定ファイルに以下を追加して、勤怠パッケージの設定を行います。タッチパネルで表示できる内容がご利用のサービスに対応します。販売元にお問い合わせください。
status.mode= [設定したいステータスボタンの数 (0, 2, 4, 6のいずれか)]

●食事予約ボタンの数を変更したい

- プロバイダ設定ファイルに以下を追加して、勤怠パッケージの設定を行います。
status.extension.mode= [設定したい食事ステータスの内容 (0~4)]

●非接触ICカードをかざした後に表示されるメッセージの表示時間を変更したい

→ プロバイダ設定ファイルに以下を追加して、勤怠パッケージの設定を行います。
display.message.show.time= [設定したい表示時間 (1~30秒)]

●使用中に勝手に電源がオフになった

- ACアダプターと本体の接続状態を確認してください。
- 電源タップや電源コードがしっかり接続されているか確認してください。
- 電源タップや電源コード、ACアダプターの断線など、故障がないことを確認してください。

●液晶タッチパネルの操作ができなくなった

- 次の方法でコンテンツセットをリセットしてください。電源ボタンを2秒以上押して、機能選択画面を表示させます。機能選択画面にある [終了] ボタンを押すと、コンテンツセットのスタートページに戻ります。

●設定パスワードが分からなくなってしまった

- 設定パスワードを忘れた場合は、設定ガイド「4.9.3. 端末初期化」をご確認ください。

●時刻を設定したい

- 時刻を設定するには、NTPサーバと時刻同期する方法と手動で設定する方法があり、Webブラウザまたは、本体から行います。
 - ・ Webブラウザから時刻を設定する。→設定ガイド「3.7. 時刻設定」
 - ・ 本体で時刻を設定する。→設定ガイド「4.7. 時刻設定 - 端末設定」

■ネットワーク

●未送信データ件数が、減らない

●サーバ通信に失敗する

→ ネットワークに正しく接続されているか確認してください。

→ プロバイダ設定ファイルでサーバ通信のパラメータが正しく設定されているか確認してください。

→ ネットワーク情報画面でネットワーク設定が正しいか確認してください。[[4. ネットワーク情報画面](#)]

→ 「テストサーバURL」が設定されている場合は、ネットワーク情報画面からTestServerの項目にあるテストボタンを押してテストを行ってください。[[4. ネットワーク情報画面](#)]

- ・ テスト結果に「Host not found」が表示された場合

ネットワークに正しく接続されていない可能性があります。ネットワーク設定を確認してください。

DNSによる名前解決ができていない可能性があります。TestServerURLが正しく設定されているか確認

してください。また、正しくネットワークに接続されているか、ネットワーク設定を確認してください。

- ・ テスト結果に「Operation canceled」が表示された場合

サーバからの返答がなくタイムアウトした可能性があります。設定値 [接続タイムアウト] を長く設定してみてください。改善しない場合は、ネットワーク環境を確認してください。

- ・ テスト結果に「Host unreachable」が表示された場合

サーバまで通信が届いていない可能性があります。ネットワーク環境を確認してください。

●使用しているIPアドレスを知りたい

→ メイン画面右上にあるネットワークアイコンを押すと、ネットワーク情報画面が表示されます。ネットワーク情報画面にIPアドレスが表示されます。「未接続」と表示される場合、ネットワークに正しく接続されているか確認してください。

→ 本体の電源ボタンを2秒以上押して、機能選択画面を表示させます。機能選択画面にある [端末情報表示] ボタンを押すと、IPアドレスが表示されます。「未接続」と表示される場合、ネットワークに正しく接続されているか確認してください。

●Web設定ページにアクセスできない

→ ネットワークに正しく接続されているか確認してください。

→ 使用しているIPアドレスを確認してください。

→ 使用しているブラウザの変更や、キャッシュのクリアを行ってください。

●NTPサーバを設定しても、時刻が設定されない

→ NTPサーバが正しく設定されているか確認してください。

- ・ Webブラウザから確認する。→設定ガイド「3.7. 時刻設定」

- ・ 本体から確認する。→設定ガイド「4.7. 時刻設定 - 端末設定」

→ ネットワークに正しく接続されているか確認してください。

→ インターネットに接続できるか確認してください。

→ ご利用のネットワークでNTPに使用するポート番号 (UDP 123番) が制限されていないか確認してください。

■USB／通信モジュール

●USBメモリへの設定バックアップができない

●USBメモリへのカード登録情報出力、検出ログ保存ができない

→ USBポートにUSBメモリが接続されていますか？

→ USBメモリは書き込み可能な状態ですか？

USBメモリにライトプロテクトがかかっている場合、設定をバックアップできません。

→ USBメモリの空き容量は十分ですか？

設定バックアップは数キロバイト程度の空き容量が必要です。

カード登録情報出力には数キロバイト程度、検出ログ保存には数メガバイト程度の空き容量が必要です。

→ FAT,FAT32,exFAT フォーマットのUSBメモリのみ利用できます。

→ USBメモリをUSBポートから外し、再度接続してください。

●USBメモリからのカード情報一括登録ができない

→ USBポートにUSBメモリが接続されていますか？

→ USBメモリのルートフォルダにカード登録情報ファイル「cardinfo.csv」がありますか？

→ 記述できるカード登録情報は最大で300件です。

→ 同じカードIDが複数ある場合は登録できません。

→ カード登録情報ファイルのフォーマットは正しいですか？

→ FATフォーマットのUSBメモリのみ利用できます。

→ USBメモリをUSBポートから外し、再び接続してください。

●USBメモリからの設定復元ができない

→ USBポートにUSBメモリが接続されていますか？

→ USBメモリのルートフォルダに設定ファイル「PitTouchPro3.set」がありますか？

→ 設定ファイルの内容を変更すると、設定を復元できません。

→ FAT,FAT32,exFATフォーマットのUSBメモリのみ利用できます。

→ USBメモリをUSBポートから外し、再度接続してください。

●通信モジュール、無線LANモジュールを使用して通信ができない

→ ピットタッチ・プロ3にLANケーブルを接続していませんか？

LANケーブルが接続されてリンクアップしている状態では、通信モジュール、無線LANモジュールでの接続はしません。

→ 通信モジュール、無線LANモジュールを一度外し、再び接続してください。

→ 通信モジュール、無線LANモジュールがピットタッチ・プロ3で対応している機種か確認してください。

設定ガイド「8.1.1. 動作確認済の通信モジュール」

設定ガイド「8.1.2. 動作確認済の無線LANモジュール」

→ 通信モジュール、無線LANモジュールに対応した設定が正しくできているか確認してください。

・Webブラウザから確認する。→設定ガイド「3.4. 通信モジュール設定」「3.5. 無線LANモジュール設定」

・本体から確認する。→設定ガイド「4.6.2. 通信モジュール設定」「4.6.3. 無線LANモジュール設定」

→ 通信モジュールの一部では、モデムモードに変更する必要があります。

→設定ガイド「8.1.1. 動作確認済の通信モジュール」

→ パソコンなどの他の対応機器に接続して、正しく動作できているか確認してください。

・無線LANモジュールの場合

→ 利用するネットワークで、端末や時間帯での接続制限や認証、ネットフィルタリングなどの利用制限がないことを確認してください。

→ 複数の無線LANを利用している環境ではありませんか？

電波干渉が発生している可能性があります。設置場所や利用する周波数帯の変更、アクセスポイントで利用するチャンネルの変更をお試しください。

→ 電波が十分に届いていない可能性があります。

無線LANアクセスポイントの見通しの良い、障害物の少ない場所に移動してご利用ください。

- 端末設定からの設定で、無線LANアクセスポイントがリストに表示されない
 - ステルスモードや、Any接続拒否が設定された無線LANアクセスポイントはリストに表示されないことがあります。
 - リストに表示されないときは、「直接設定」でSSIDを指定して無線LANモジュール設定を行ってください。
 - 無線LANアクセスポイントの通信エリア外の可能性があります。
 - 一時的に電波が届いていない可能性があります。
 - [リストを更新] ボタンを押し、無線LANアクセスポイントを再検出してください。

■非接触IC

●非接触ICカードをかざしても反応しない/コンソールログに記録が残らない

- 本体の非接触IC読み取り部と非接触ICカードが重なるようにかざしてください。
- 設定値 [非接触IC切り替え] の設定とかざしているカードを確認してください。
- FeliCaをご利用の場合は、設定値 [FeliCaシステムコード] が正しく設定されているか確認してください。
- カード情報の読み取り機能を利用している場合は、設定しているカードに関する情報とかざしているカードが一致していることを確認してください。
- 複数枚の非接触ICカードをかざしていないことを確認してください。
- メイン画面以外が表示されているときは、非接触ICカードをかざしても検出されません。通信中画面が表示されているときは、通信が終了してから非接触ICカードをかざしてください。その他、管理画面や機能選択画面などが表示されているときは、メイン画面を表示させてから非接触ICカードをかざしてください。
- かざしている非接触ICカードが対応している非接触ICかどうか、弊社ホームページで確認してください。
- プロバイダ設定ファイルで勤怠パッケージの設定を行ってください。勤怠パッケージの設定がわからない場合、販売元にお問い合わせください。

●特定のFeliCaカードのみ反応させたい

- プロバイダ設定ファイルに以下を追加して、勤怠パッケージの設定を行います。
rfid.felica.syscode= [反応させたいFeliCaのシステムコード]

MEMO

FeliCa Standardのみの対応になります。FeliCa Lite/Lite-Sには、対応していません。
FeliCaシステムコードの有無、または、かざされたFeliCaカードの論理分割の有無にかかわらず、FeliCa IDは、論理カード0（システム0）のFeliCa ID（先頭1バイトの上位4ビットが常に0）を通知します。

●ボタン表示と異なるステータスが送信された

- かざすときにカードなど画面に触れないように注意してかざしてください。
- 必ずステータスを選択してからカードをかざす運用を設定することができます。詳しくは、「[3.2. 打刻とステータス](#)」を参照してください。

■更新

●ファームウェアが自動更新されない

- 更新の実施は、事前手続きが必要です。詳細につきましては、販売元にお問い合わせください。

●コンテンツセットが自動更新されない

- 更新の実施は、事前手続きが必要です。詳細につきましては、販売元にお問い合わせください。

- ・本書の内容の全部または一部について、無断で転載、複製、改変などをすることは、固くお断りします。
- ・本書に記載された仕様、その他の内容については、予告なしに変更することがあります。
- ・本書に記載された事項を元にお客様が作成したプログラム・仕様書などについて発生したいかなる損害も、当社は一切の責任を負いません。

ピットタッチ・プロ3 勤怠パッケージ ユーザーマニュアル

発行日：2022年4月 第1版

発行：株式会社スマート・ソリューション・テクノロジー